第４１回　県政世論調査

単純集計結果

平成３０年７月実施

岐阜県

目　　次

Ⅰ　調査概要 1

１．１　調査の目的 1
１．２　調査の経緯 1
１．３　調査項目 1
１．４　調査の設計 1
１．５　回収結果 1
１．６　標本誤差 2
１．７　報告書の見方 2
１．８　対象者の属性 3

Ⅱ　調査結果 8

２．１　くらしについて 8
問１　くらしの前年比較 8
問１－２　くらしが苦しくなったと感じる理由 9
問２　くらしの満足度 11
問３　生活面での不安 12
問４　今後のくらしの中で重視していきたいこと 14
問５　生活に必要な情報の入手媒体 16
問６　現在住んでいる地域は住みやすいか 18
問６－２　住んでいる地域が住みやすいと感じる点 19
問６－３　住んでいる地域が住みにくいと感じる点 21
問７　今後も岐阜県に住み続けたいか 23
２．２　県の取り組み全般について 24
問８　施策や事業についての情報の入手方法 24
問９　県事業への関心の有無 26
問９－２　県事業に関心がない理由 27
問１０　県の取り組みでよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野 28
問１１　重点的に進めるべきだと思う分野 32
問１２　人口減少社会への将来不安 34
問１３　国の内外に誇れるもの 35
問１４　子育て支援への対策 36
問１４－２　地域全体で子育てを支える環境の整備 37
問１５　若者の県内定着への対策 38

２．３　生活を取り巻くさまざまな課題について……39
問１６　「高齢者」「障がい者」を支える環境の整備……39
問１７　健康づくりへの対策……41
問１８　食品の安全性への不安……42
問１８－２　食品の安全性への不安に対する県民の取り組み……43
問１９　過去１年間の文化活動・文化鑑賞……44
問１９－２　文化行政に望むこと……45
問２０　過去１年間に犯罪にあったこと、危険を感じたことの有無 46
問２１　不審な電話による勧誘被害の対策……47
問２２　社会貢献活動への参加……48
問２３　在住外国人との共生……49
問２４　「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度……50
問２５　災害や緊急時の備え……51
問２６　防災対策や避難行動の情報源……52
問２７　避難情報に対する行動……54

Ⅰ　調査概要

１．１　調査の目的

県下全域の県民意識の把握とともに、県行政の各施策に対する県民の関心、満足度等を調査し、県政推進の基礎資料とする。

１．２　調査の経緯

昭和４２年から実施、今回４１回目

※昭和 42 年～昭和 61 年：毎年実施　　昭和 63 年～平成 18 年：隔年実施　平成 20 年～：毎年実施

１．３　調査項目

（１）くらしについて
（２）県の取り組み全般について
（３）生活を取り巻くさまざまな課題について

１．４　調査の設計

（１）調査地域　　岐阜県全域
（２）調査対象　　県内に居住する満１８歳以上の男女個人
（３）標本数　　３，０００人
（４）抽出方法　　層化二段無作為抽出法
（５）調査方法　　郵送法
（６）調査時期　　平成３０年６月２８日～７月１７日
（７）調査実施機関　　株式会社　中部タイム・エージェント

１．５　回収結果

	調査時期	標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B／A)	有効回答率 (C／A)
第４１回 (平成３０年度)	平成３０年 7月	3,０００	1,４３７	1,４３６	４７．９%	４７．９%
第４０回 (平成２９年度)	平成２９年 7月	3,０００	1,５２２	1,５２２	５０．７%	５０．７%
第３９回 (平成２８年度)	平成２８年 7月	3,０００	1,５３３	1,５３３	５１．１%	５１．１%

１．６　標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96\sqrt{\frac{P\,(100-P)}{n}}$$

（ただし、P：回答比率　n：回答者数）

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数（n）及び②回答比率（P）によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

		P（回答比率　%）									
n（回答者数　人）		5 又は 95	10 又は 90	15 又は 85	20 又は 80	25 又は 75	30 又は 70	35 又は 65	40 又は 60	45 又は 55	50
総数	1,436	1.1	1.6	1.8	2.1	2.2	2.4	2.5	2.5	2.6	2.6

（注）1. 層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。
2. この表の見方は以下のとおりである。
「ある設問の回答者数が 1,436 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.6%である。」

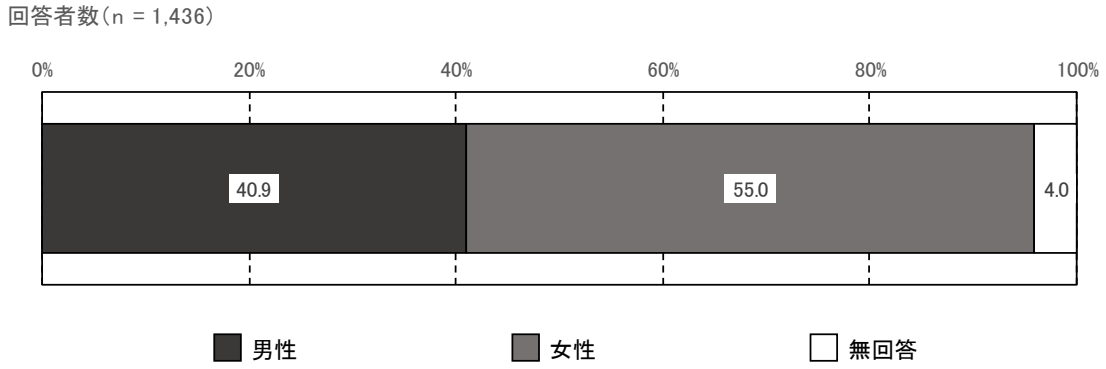
１．７　報告書の見方

（１）比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
（２）基数となるべき実数は「n」（件数）として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。
（３）複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超える。
（４）本報告書中の表、グラフ、及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

１．８　対象者の属性

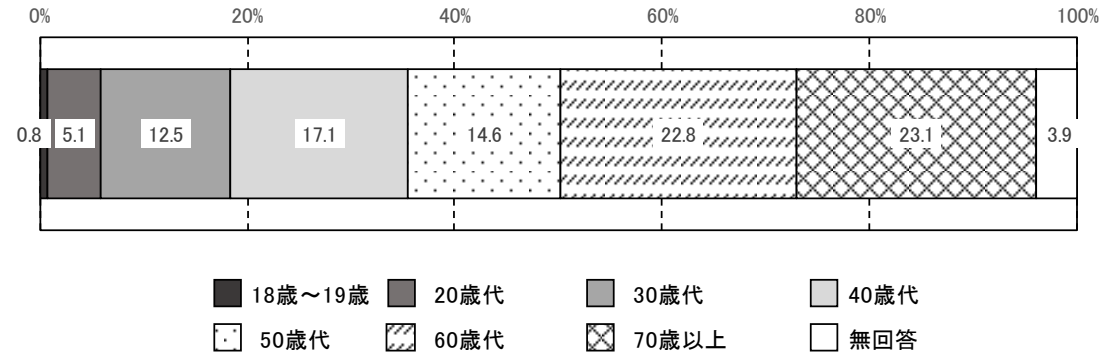
Ｆ－１　性別

図 F-1 性別



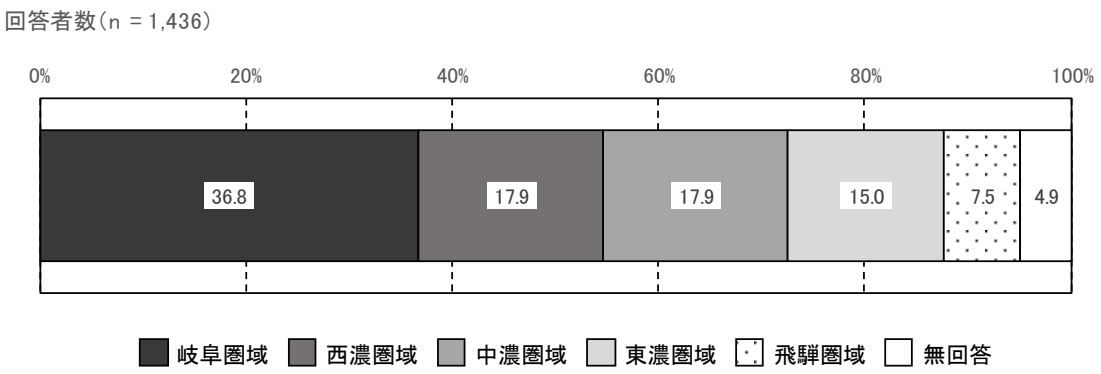
Ｆ－２　年代

図 F-2 年代



Ｆ－３　居住圏域（５分類）

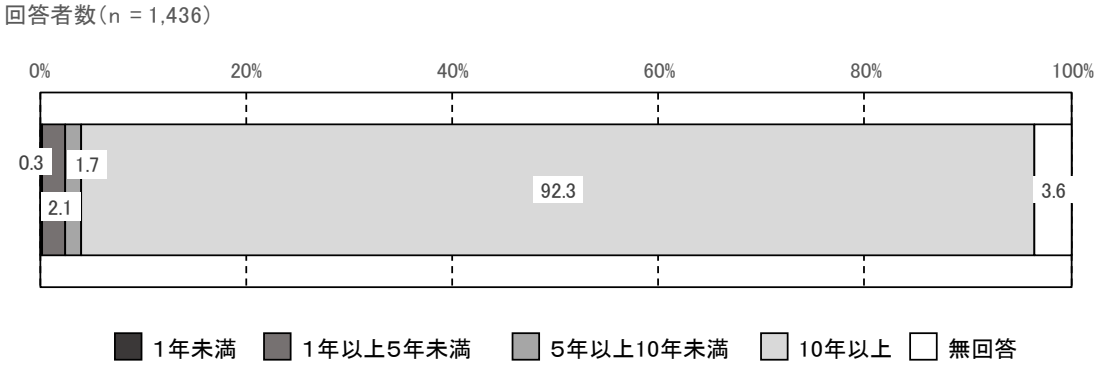
図 F-3 居住圏域（5分類）



岐阜圏域（岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）
西濃圏域（大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町・揖斐川町・大野町・池田町）
中濃圏域（関市・美濃市・美濃加茂市・可児市・郡上市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町）
東濃圏域（多治見市・中津川市・瑞浪市・恵那市・土岐市）
飛騨圏域（高山市・飛騨市・下呂市・白川村）

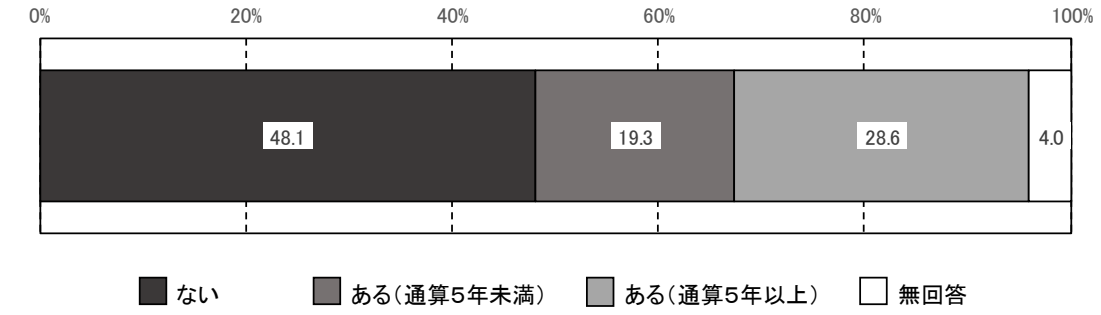
Ｆ－４　居住年数

図 F-4 居住年数



Ｆ－５　県外居住経験の有無

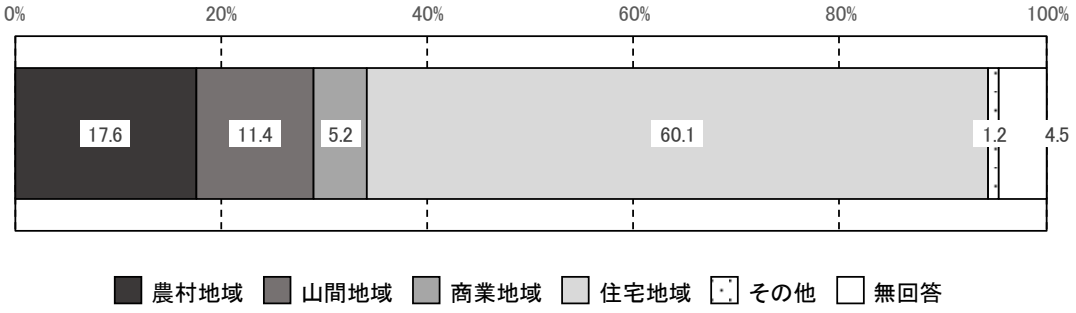
図 F-5 県外居住経験の有無



Ｆ－６　居住地周囲の環境

図 F-6 居住地周囲の環境

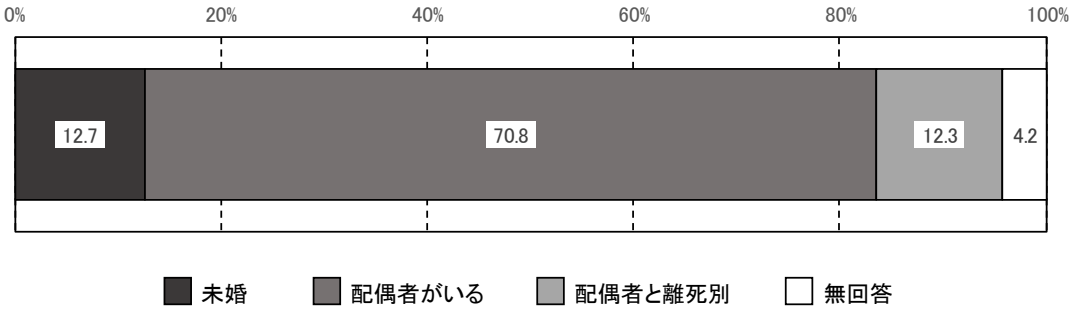
回答者数（n = 1,436）



Ｆ－７　配偶者の有無

図 F-7 配偶者の有無

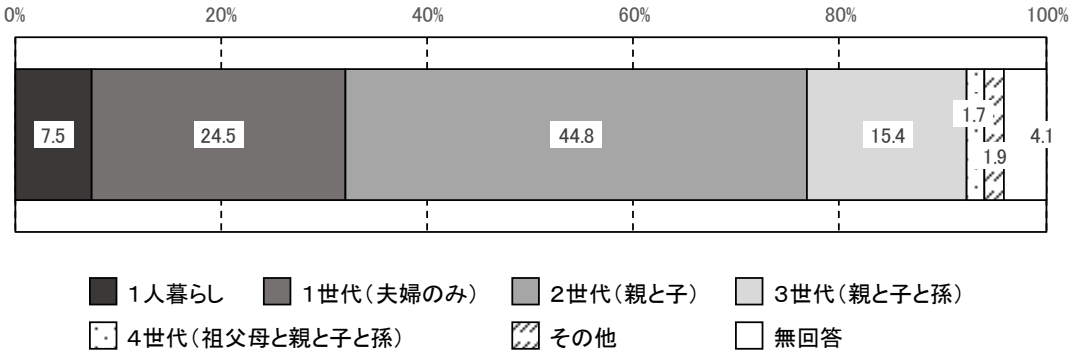
回答者数（n = 1,436）



Ｆ－８　家族形態

図 F-8 家族形態

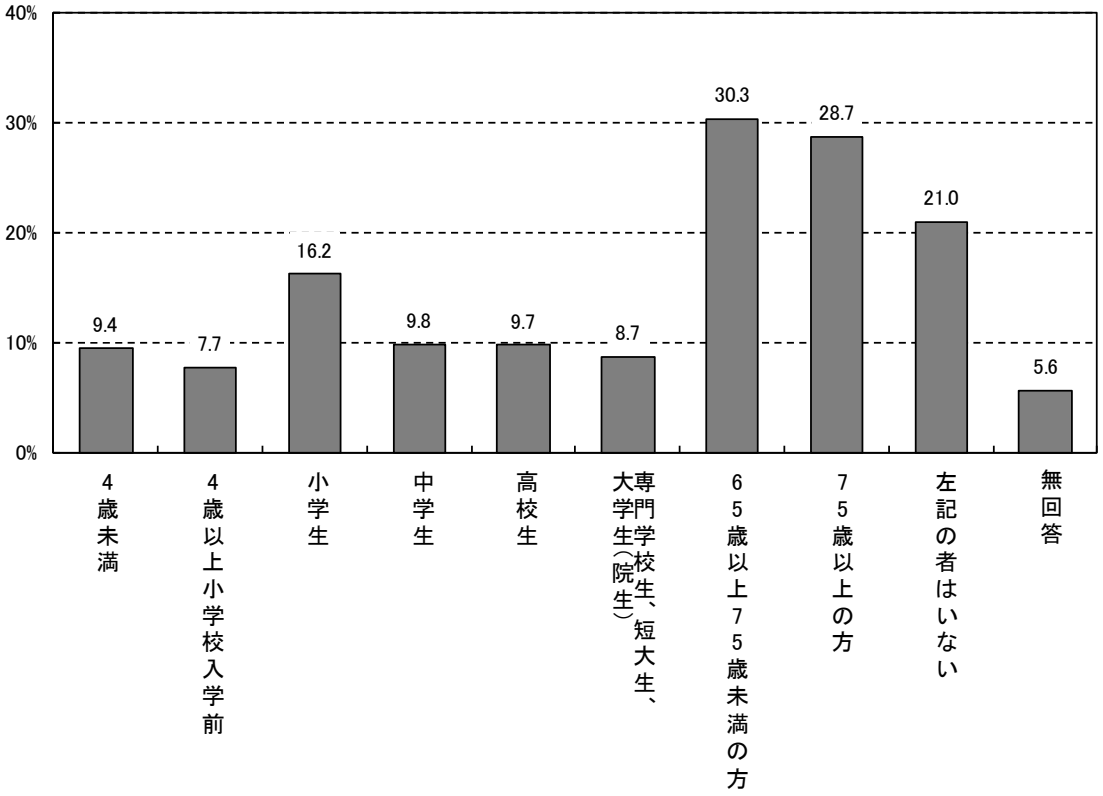
回答者数（n = 1,436）



Ｆ－９　家族構成

図 F-9 家族構成

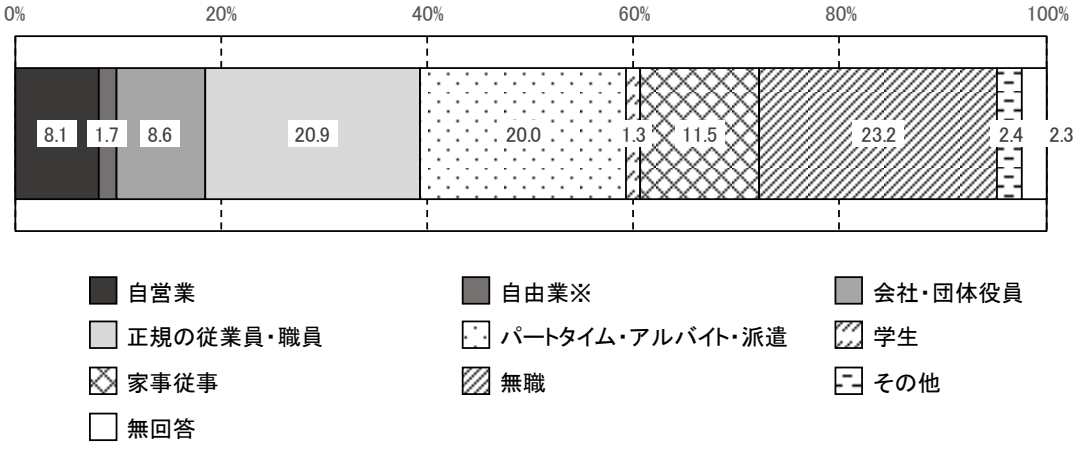
回答者数（n = 1,436）
総回答数（N = 2,114）



Ｆ－１０　職業

図 F-10 職業

回答者数（n = 1,436）

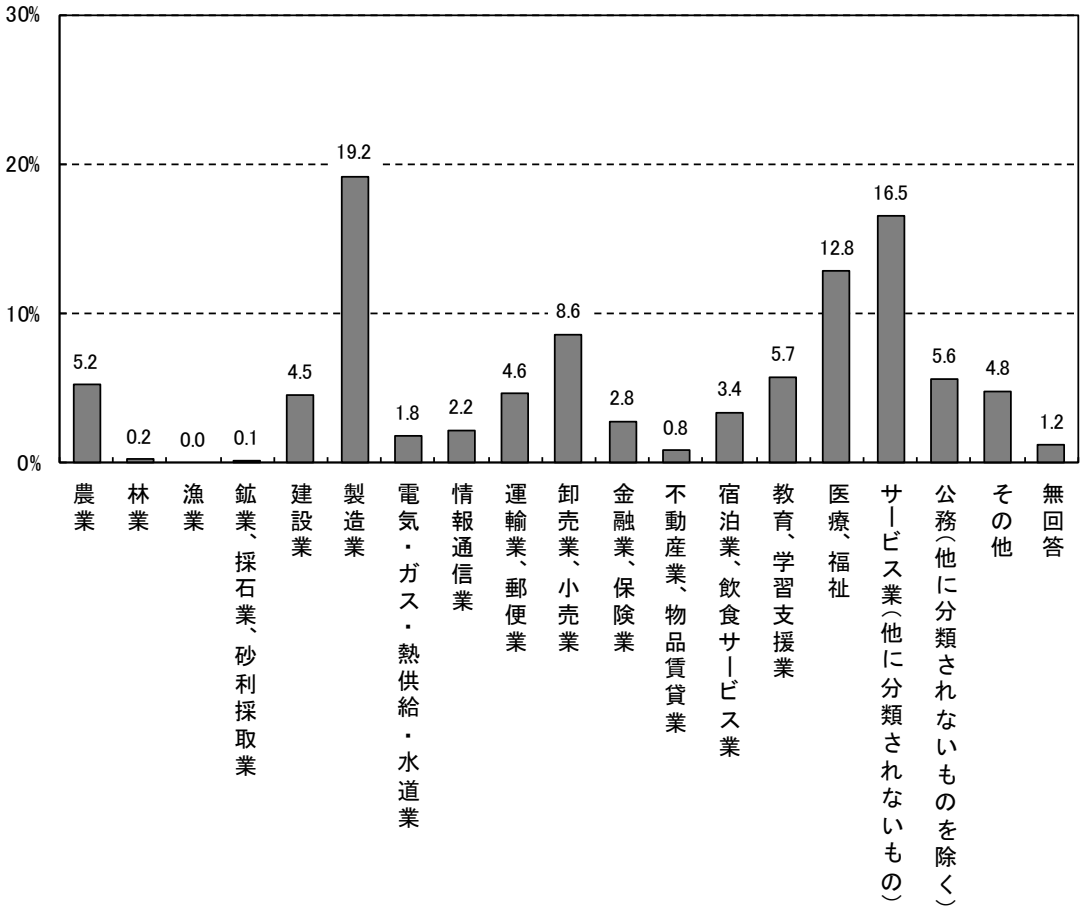


※ 自由業：一定の雇用関係によらず、勤務時間その他の制約を受けない職業で、作家、弁護士、医師、会計士、税理士、芸術家など

Ｆ－１１　業種

図 F－11　業種

回答者数（n = 853）※

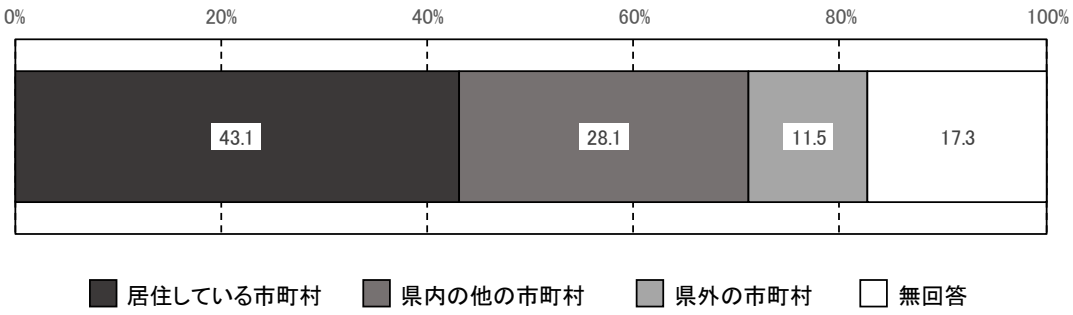


※「F10　職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣と答えた方のみ

Ｆ－１２　通勤、通学先

図 F-12　通勤、通学先

回答者数（n = 871）※



※「F10　職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、学生と答えた方のみ

Ⅱ　調査結果

2．1　くらしについて

問1　くらしの前年比較

問１　あなたやあなたの家庭のくらし向き(家計など)は、去年の今頃と比べてどうですか。 （１つだけ）

図 1-1　くらしの前年比較

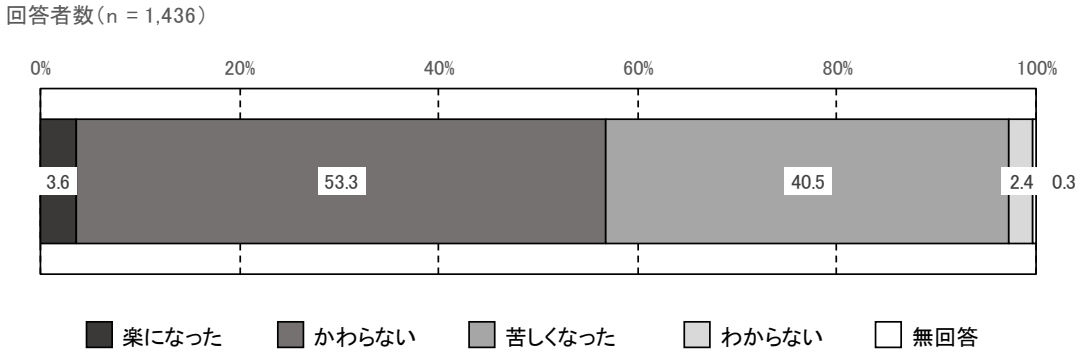
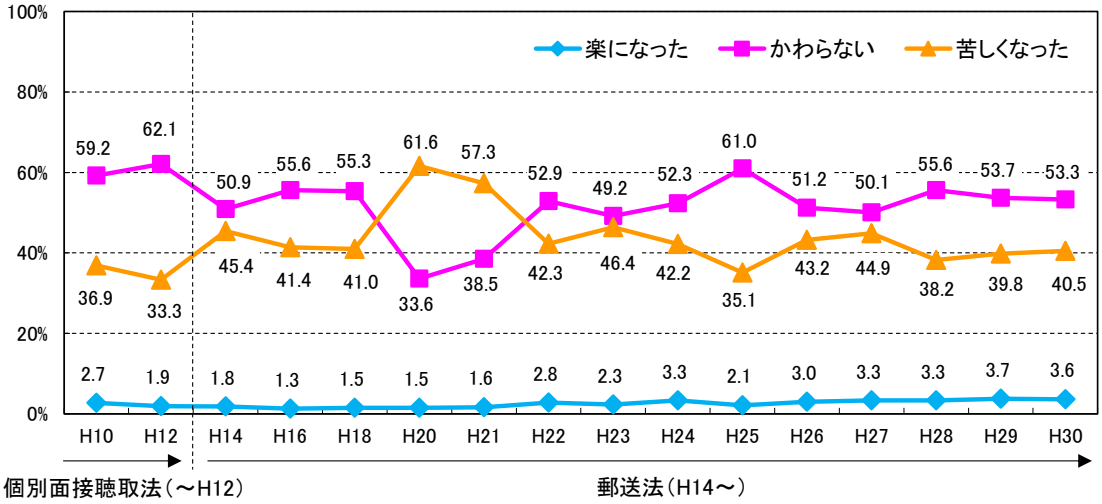


図 1-2 【経年変化】くらしの前年比較

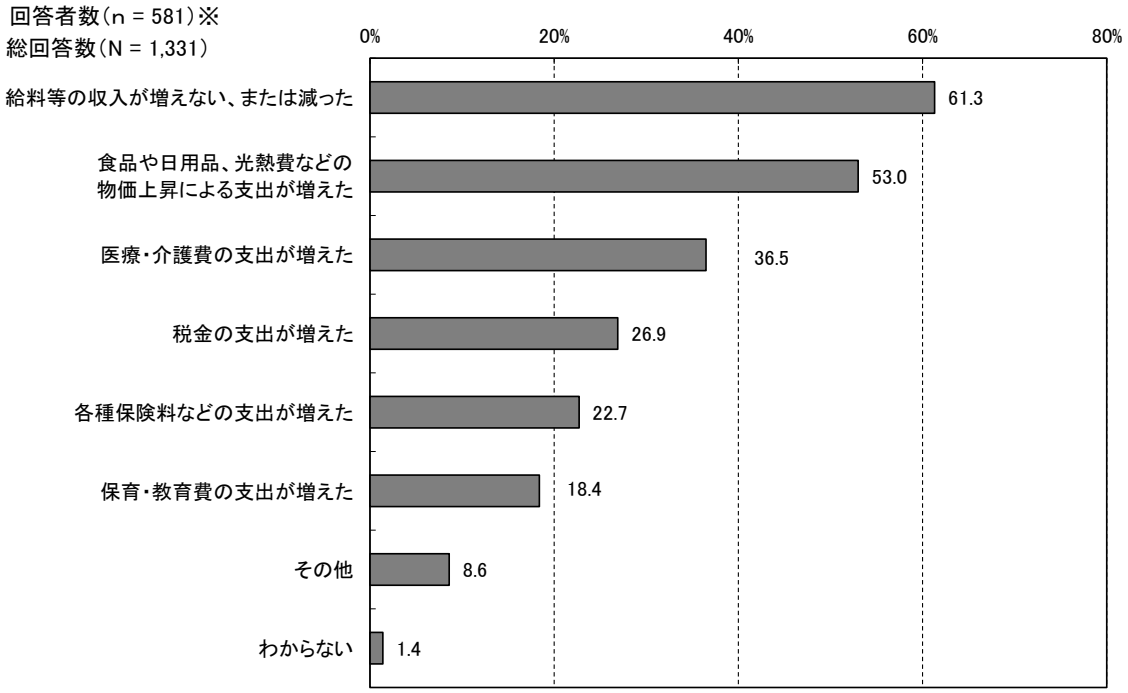


※ 調査方法:平成 12 年度まで個別面接聴取法、平成 14 年度から郵送法

問１－２　くらしが苦しくなったと感じる理由

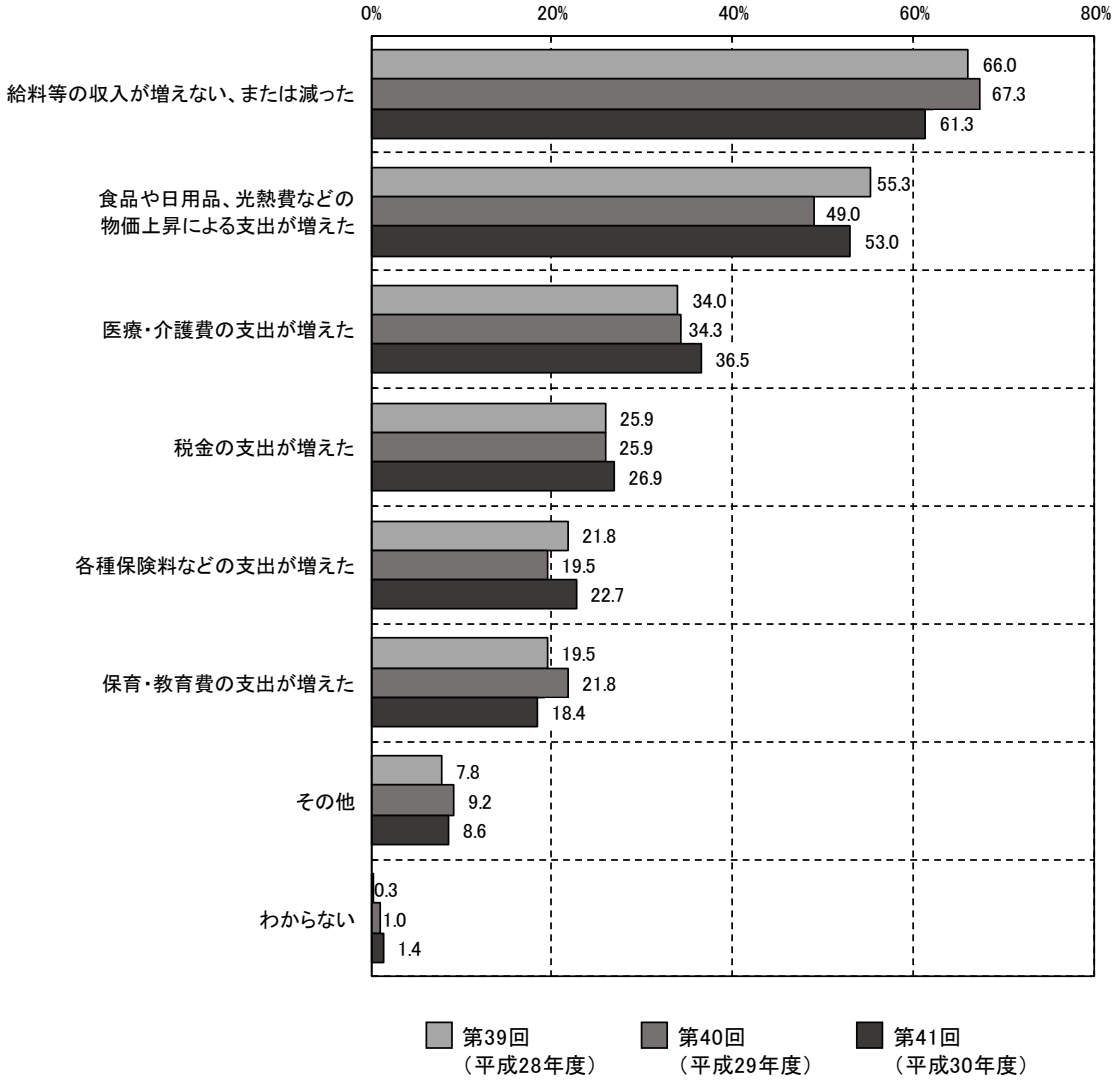
問１－２　「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。
あなたが、くらしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。
（３つまで）

図 1-2-1 くらしが苦しくなったと感じる理由



※ 問１で「苦しくなった」と答えた方のみ

図 1-2-2 【前々回・前回比較】 くらしが苦しくなったと感じる理由



問２　くらしの満足度

問２　あなたは、現在のくらし全般（生活環境など）についてどう思いますか。（１つだけ）

図 2-1 くらしの満足度

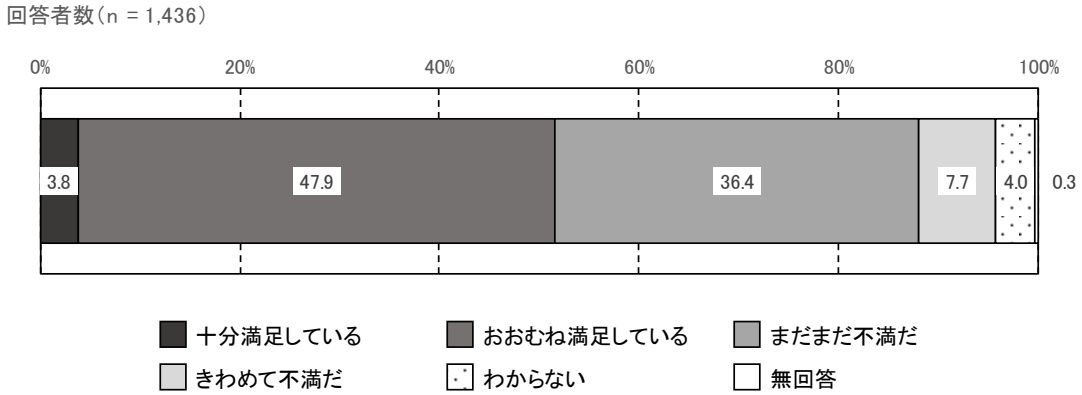
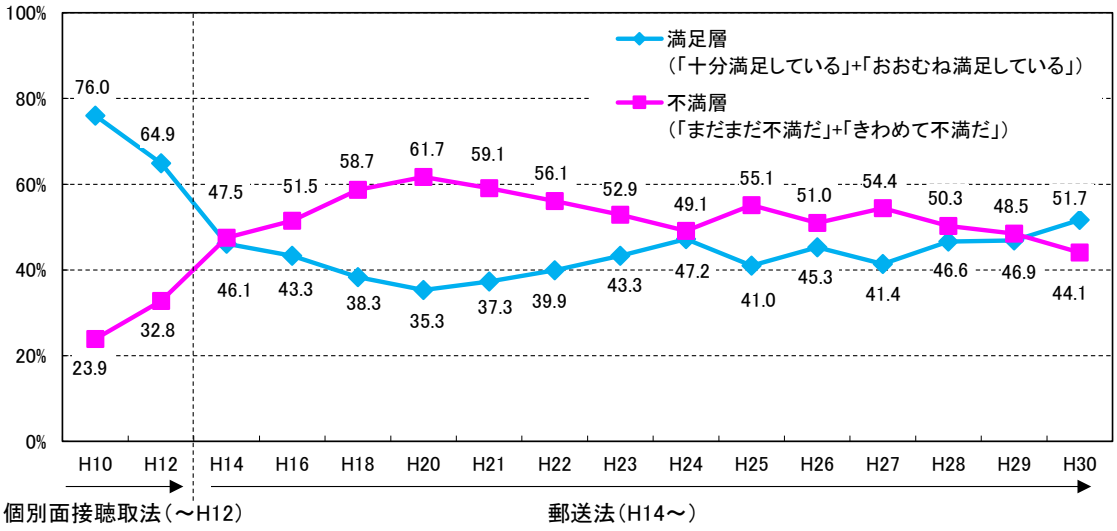


図 2-2 【経年変化】くらしの満足度



※ 調査方法：平成 12 年度まで個別面接聴取法、平成 14 年度から郵送法

問３　生活面での不安

問３　あなたは、日頃のくらしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。
（３つまで）

図 3-1　生活面での不安

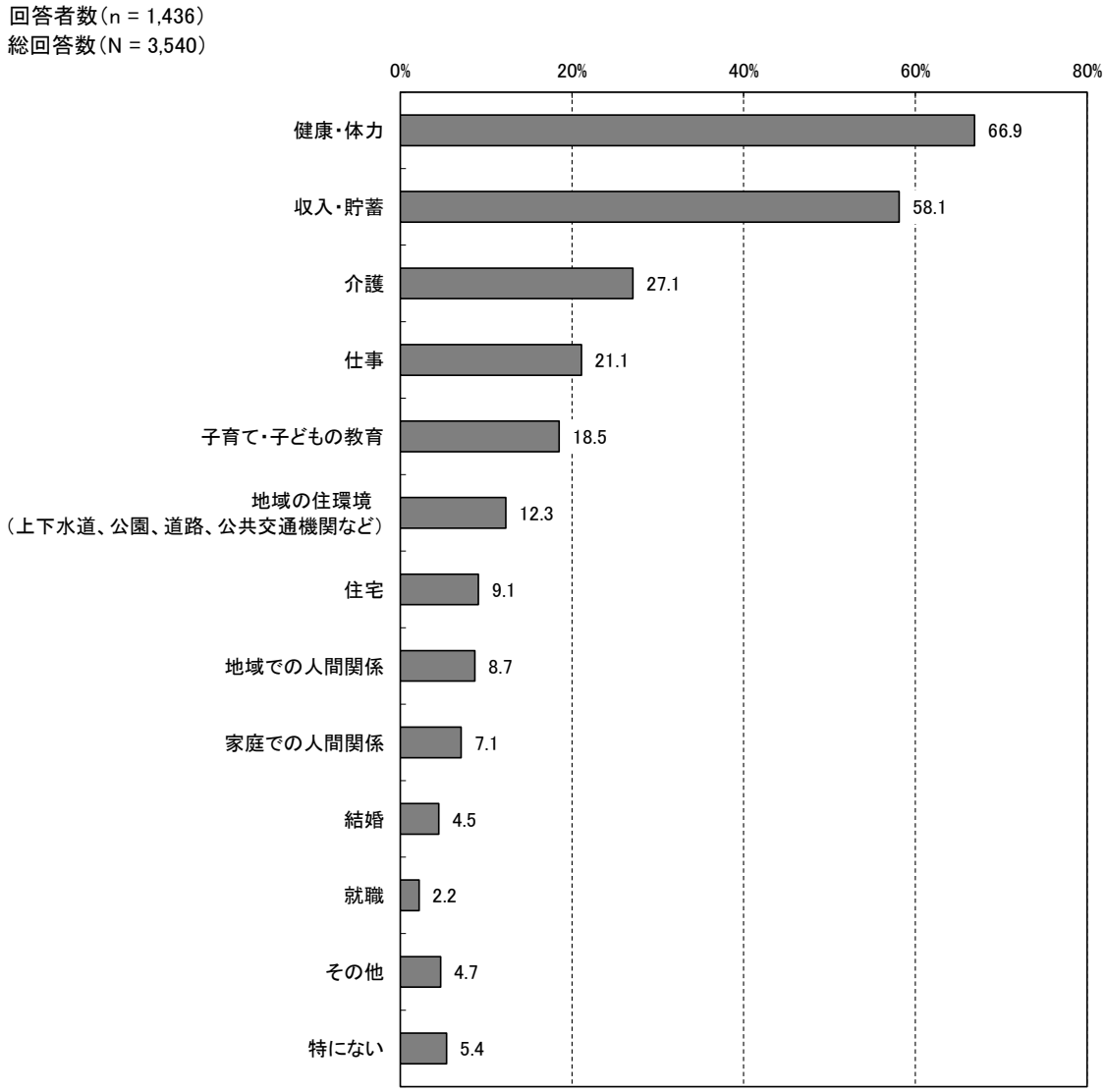
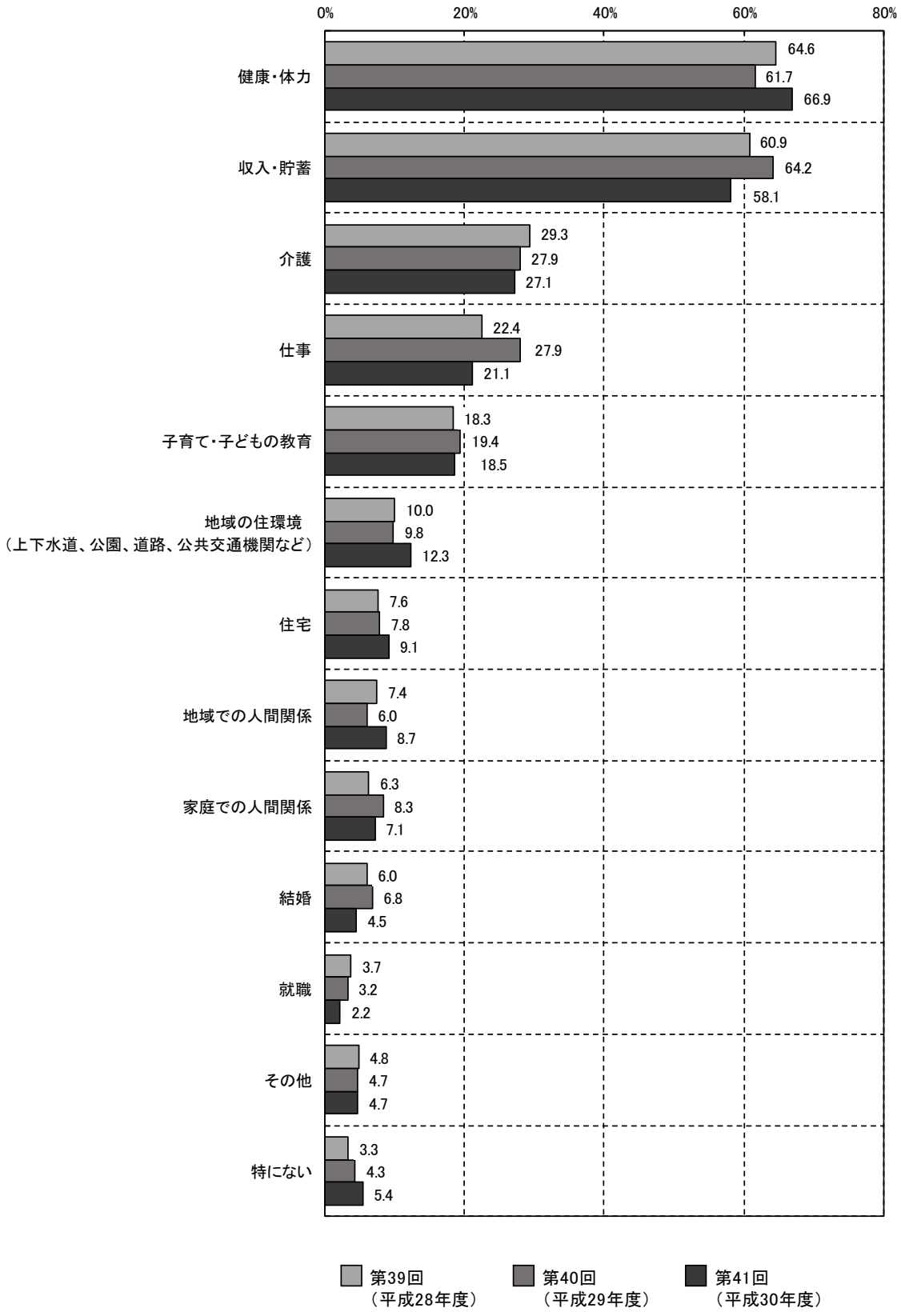


図 3-2 【前々回・前回比較】 生活面での不安



問４　今後のくらしの中で重視していきたいこと

問４　あなたが、今後のくらしの中で重視していきたいと思うことは何ですか。（３つまで）

図 4-1　今後のくらしの中で重視していきたいこと

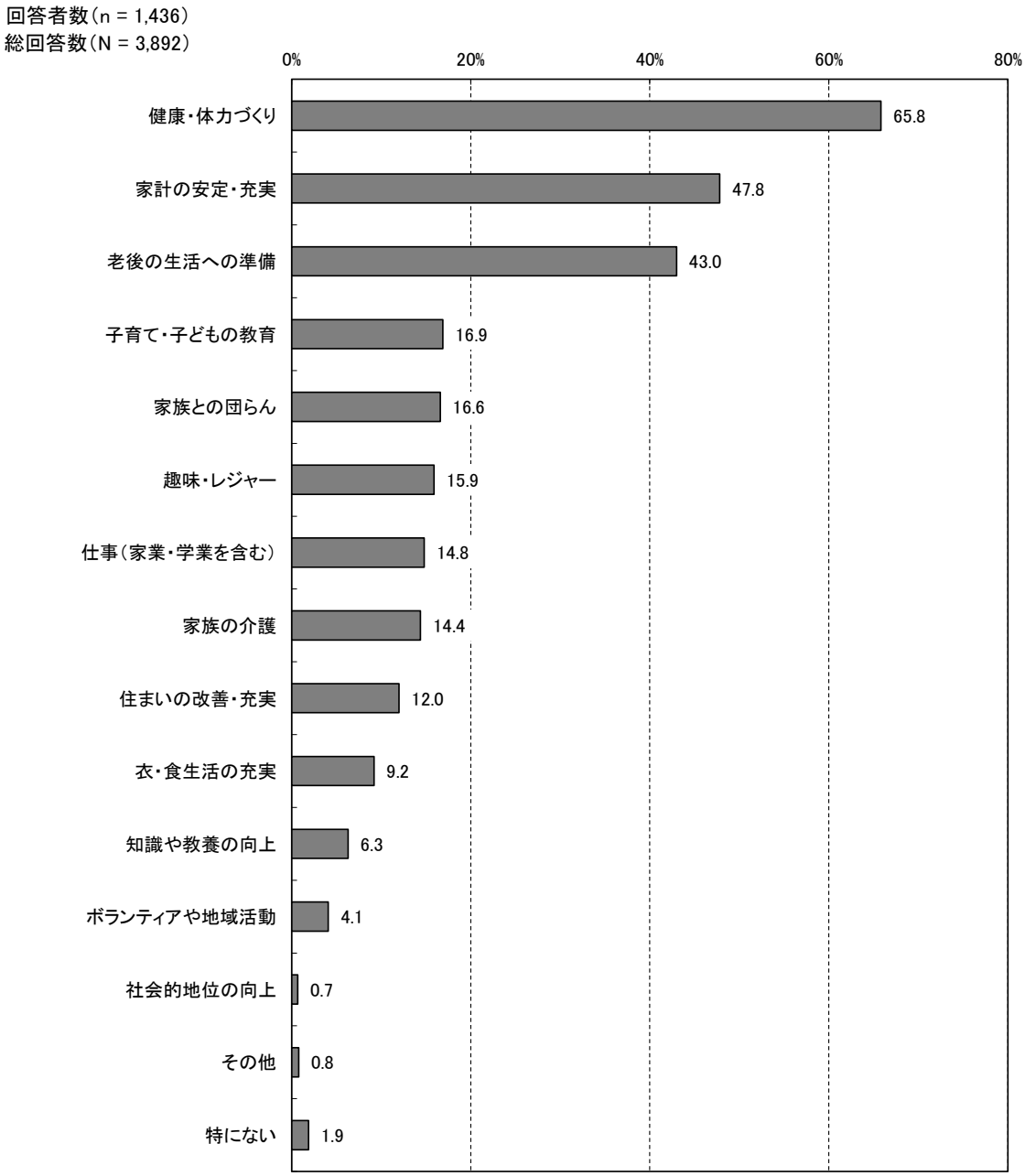
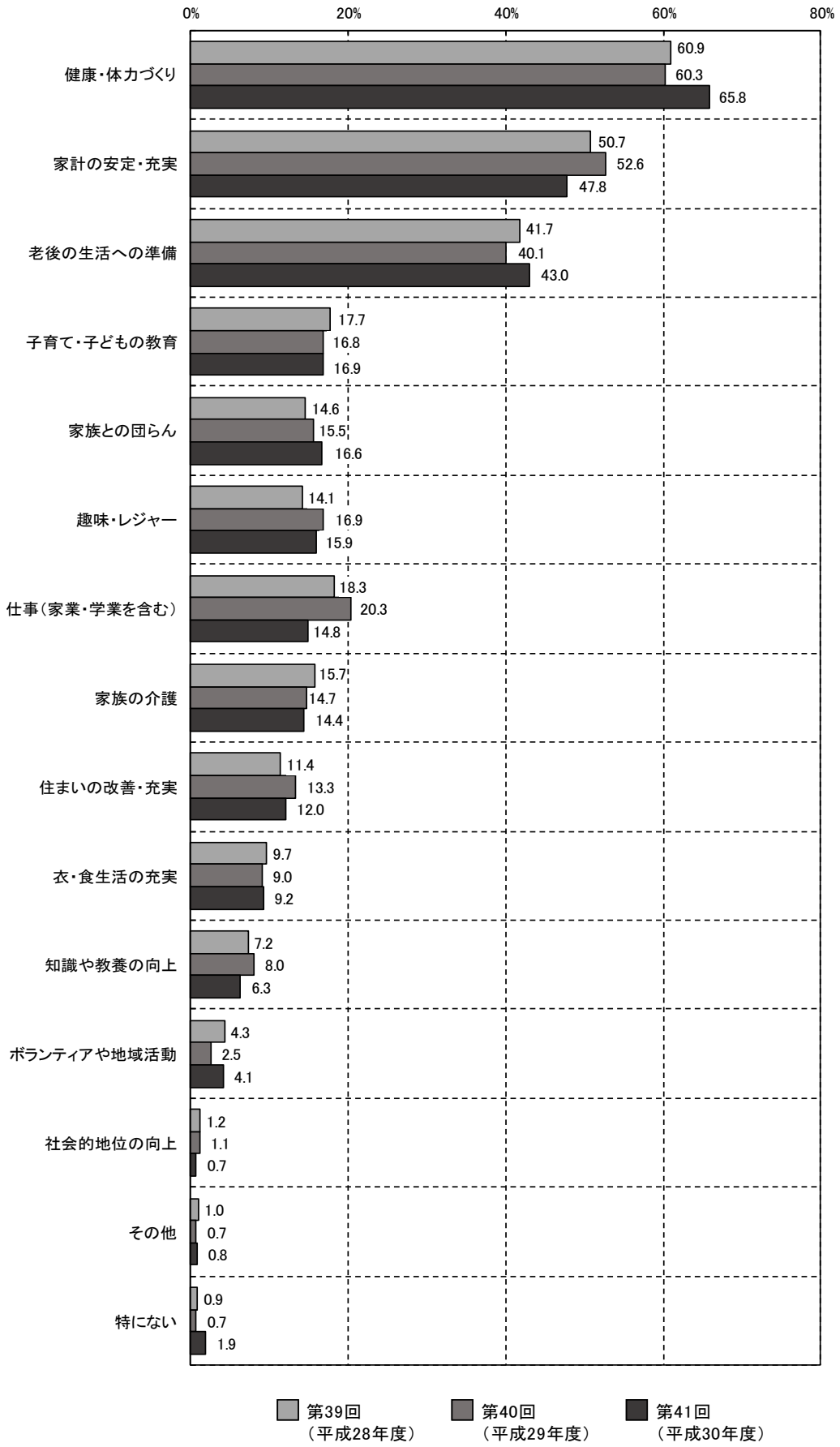


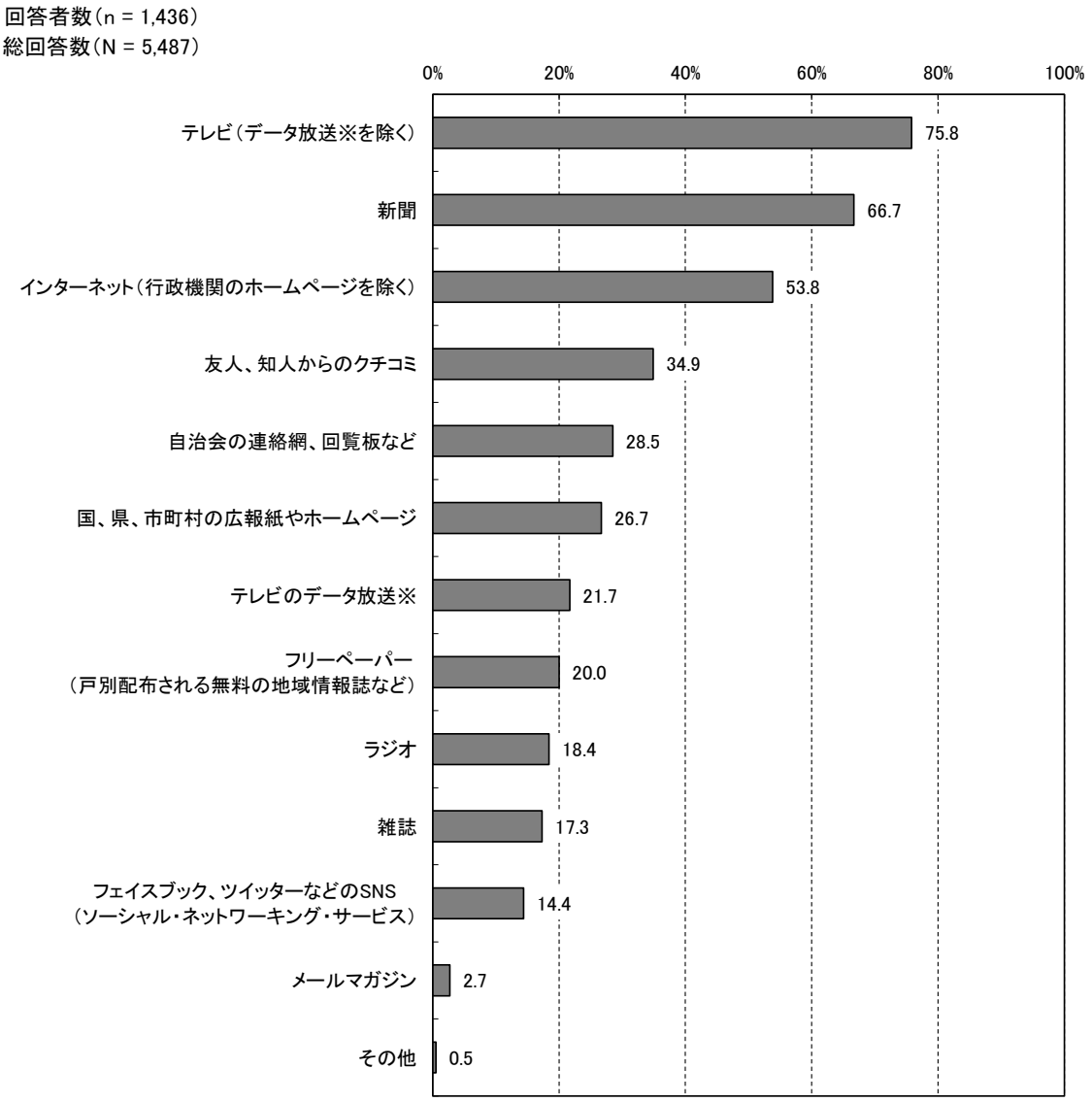
図 4-2 【前々回・前回比較】 今後のくらしの中で重視していきたいこと



問５　生活に必要な情報の入手媒体

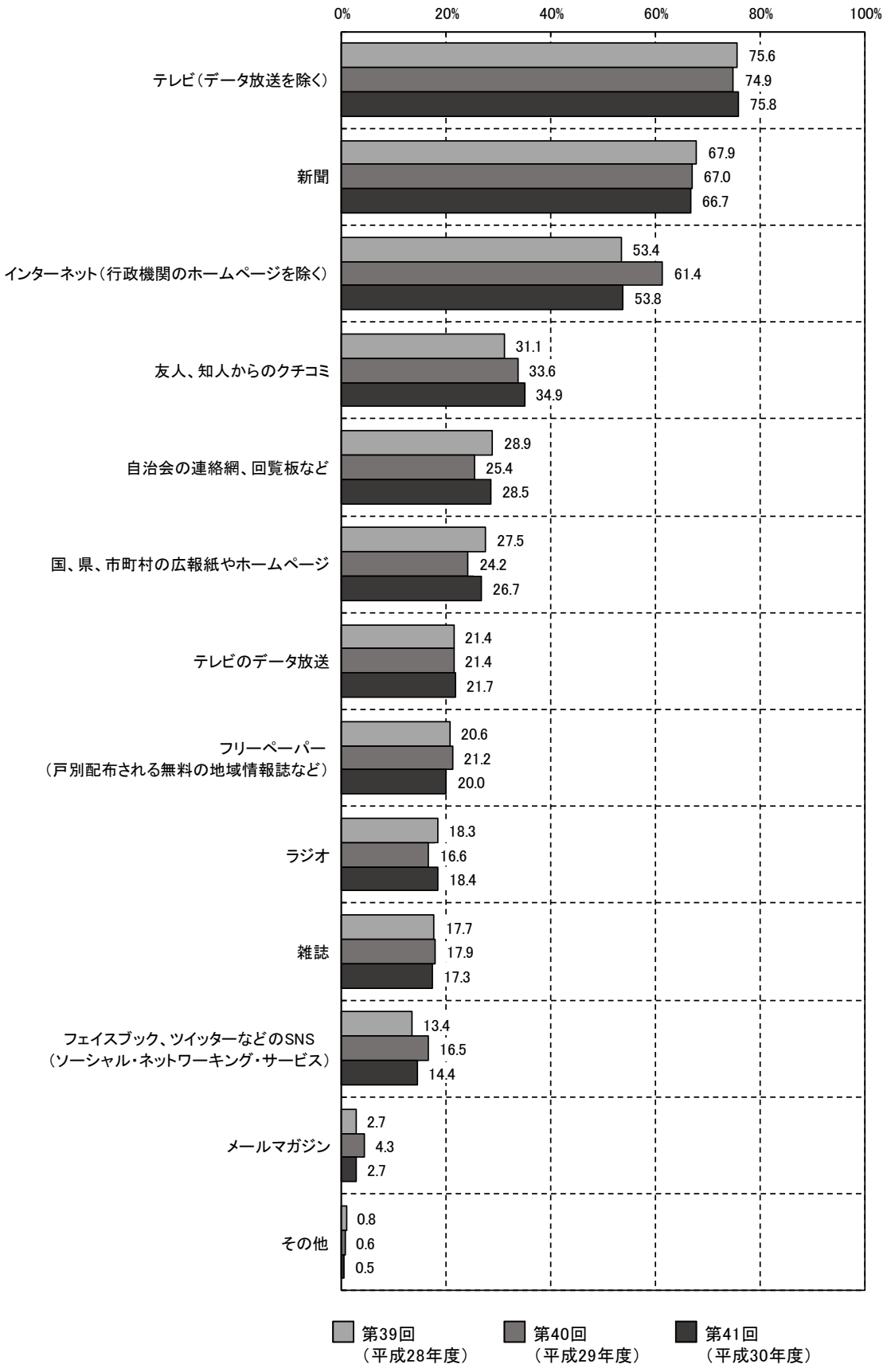
問５　あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。（いくつでも）

図 5-1　生活に必要な情報の入手媒体



※ データ放送：リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

図 5-2 【前々回・前回比較】 生活に必要な情報の入手媒体



問６　現在住んでいる地域は住みやすいか

問６　あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。（１つだけ）

図 6-1　現在住んでいる地域は住みやすいか

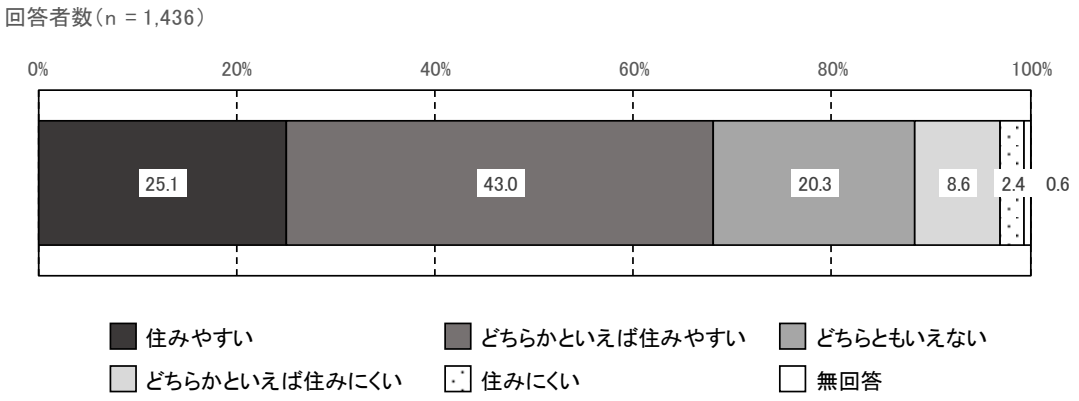
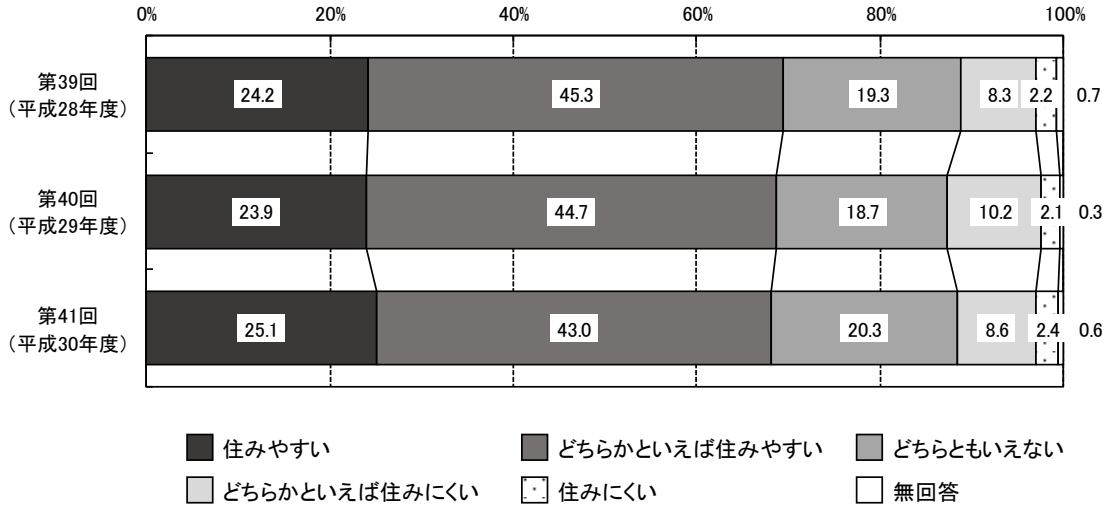


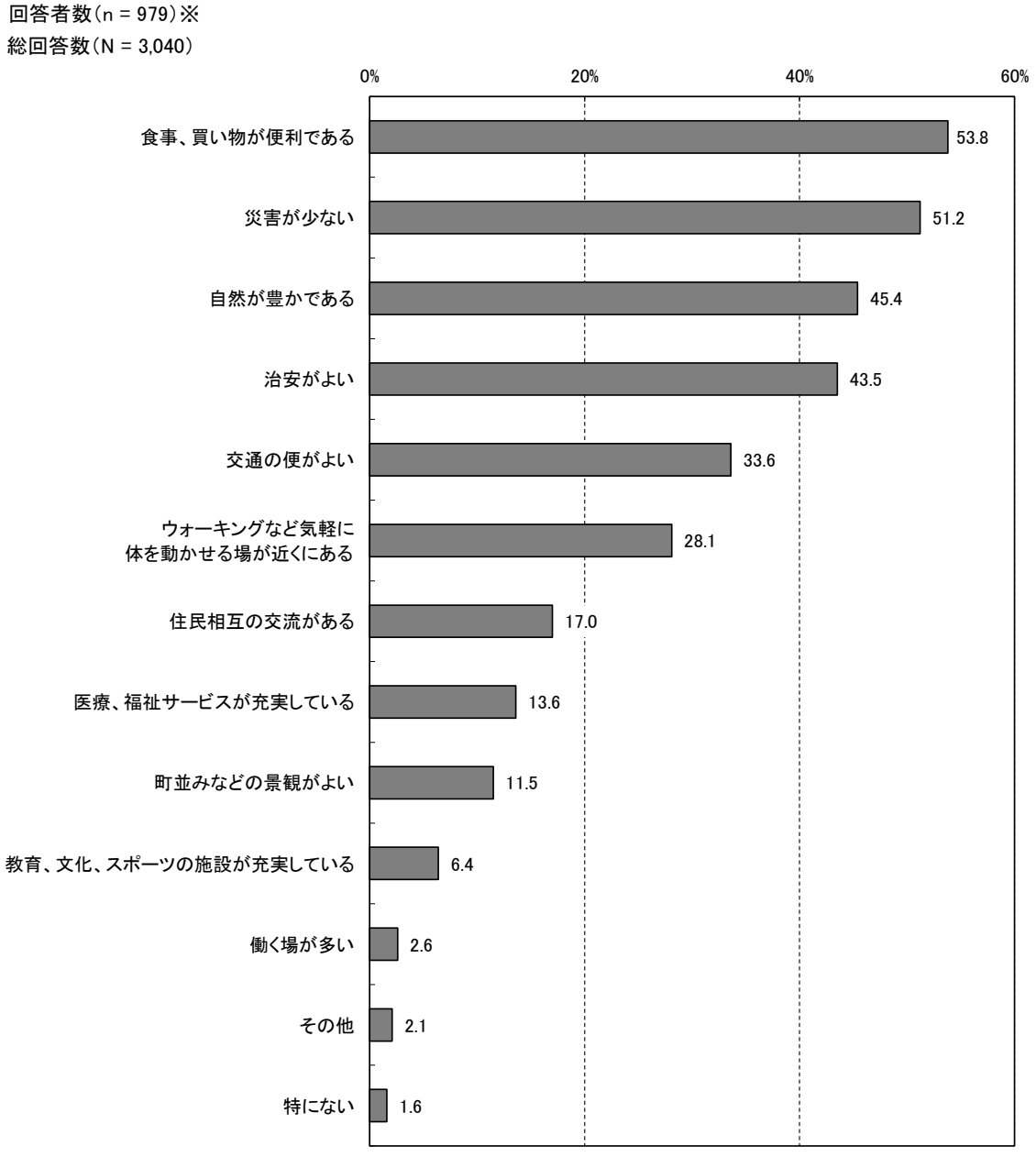
図 6-2 【前々回・前回比較】 現在住んでいる地域は住みやすいか



問６－２　住んでいる地域が住みやすいと感じる点

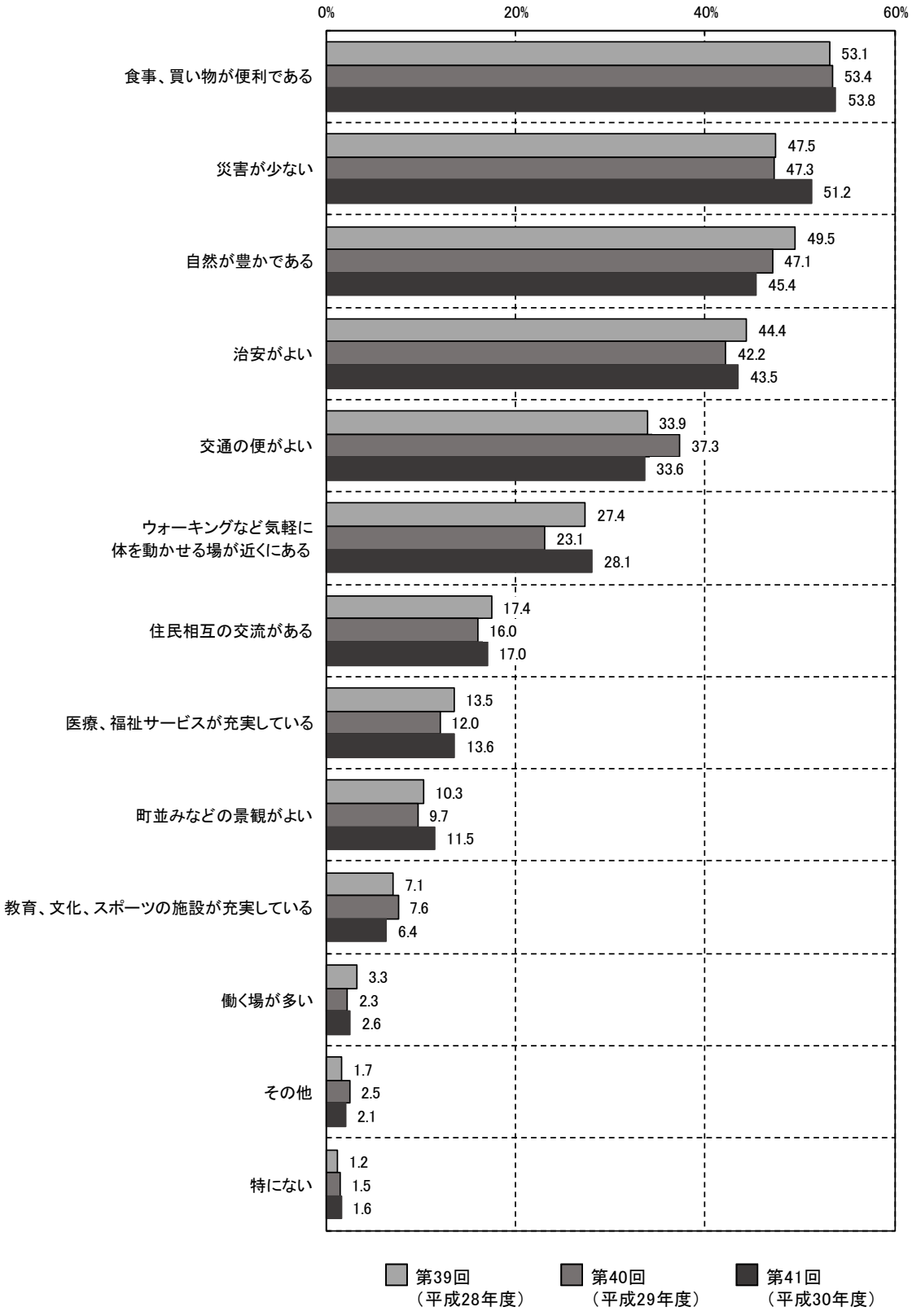
問６－２　「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお尋ねします。
現在お住まいの地域が住みやすいと感じるのは、特にどのような点ですか。
（いくつでも）

図 6-2-1　住んでいる地域が住みやすいと感じる点



※ 問 6 で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみ

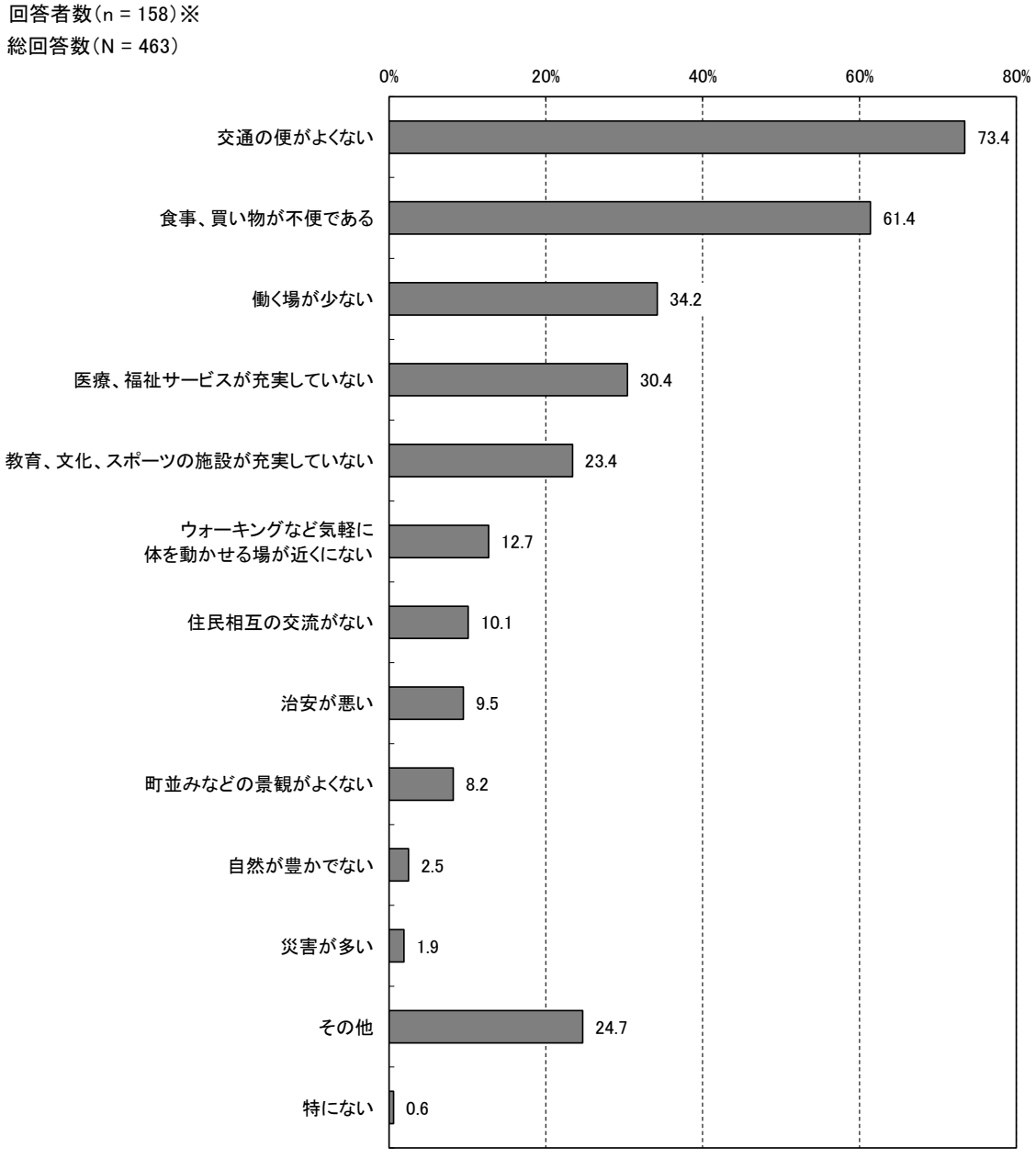
図 6-2-2 【前々回・前回比較】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点



問６－３　住んでいる地域が住みにくいと感じる点

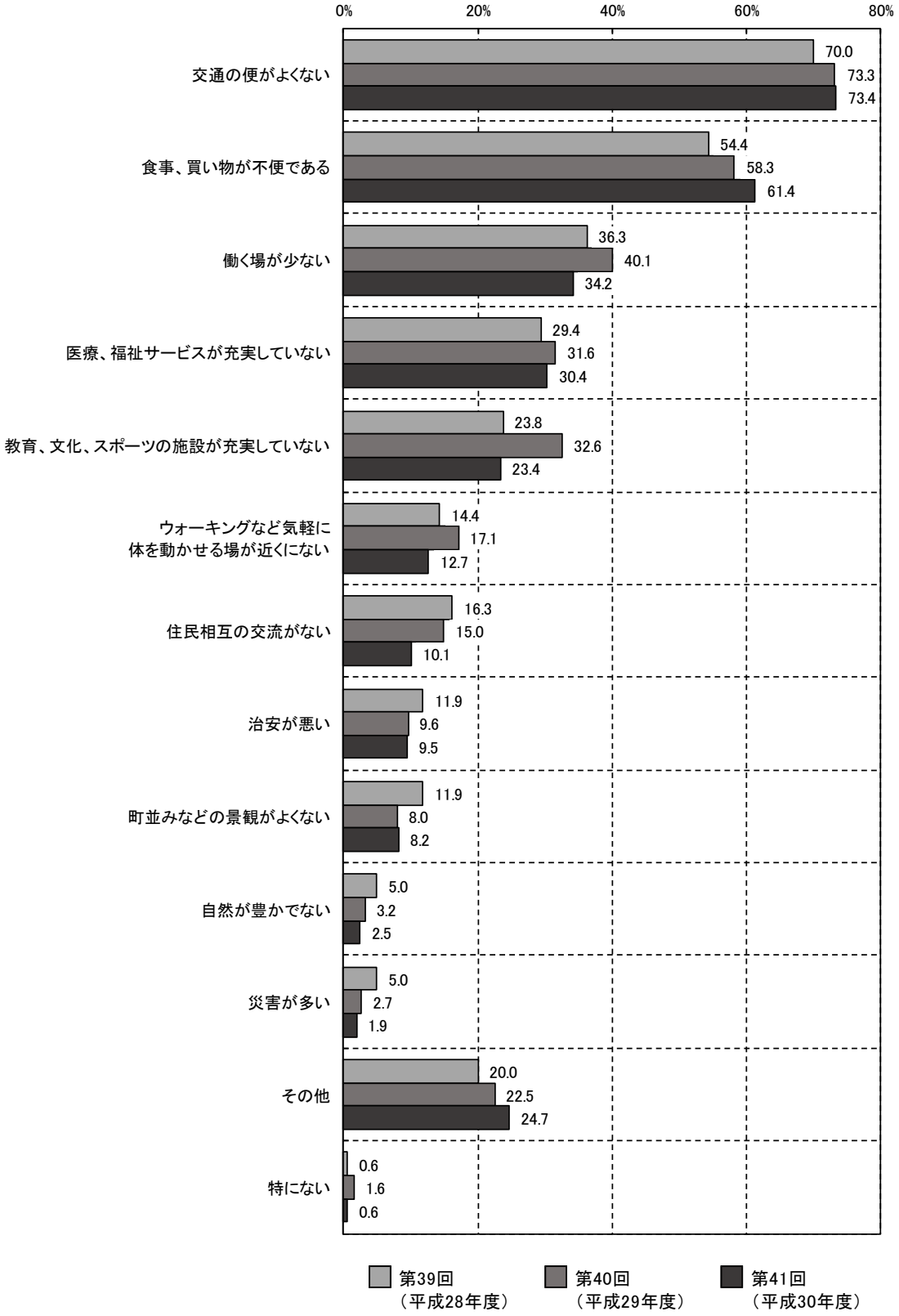
問６－３　「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお尋ねします。
現在お住まいの地域が住みにくいと感じるのは、特にどのような点ですか。
（いくつでも）

図 6-3-1　住んでいる地域が住みにくいと感じる点



※ 問 6 で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方のみ

図 6-3-2 【前々回・前回比較】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点



問７　今後も岐阜県に住み続けたいか

問７　あなたは、今後も岐阜県に住み続けたいと思いますか。（１つだけ）

図 7-1　今後も岐阜県に住み続けたいか

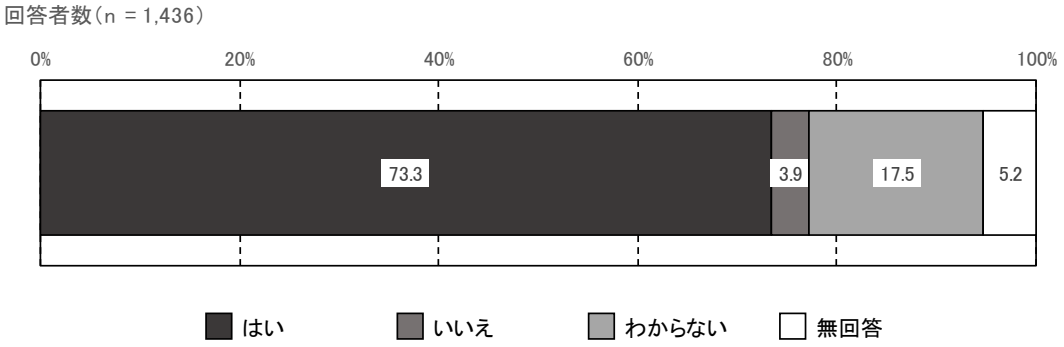
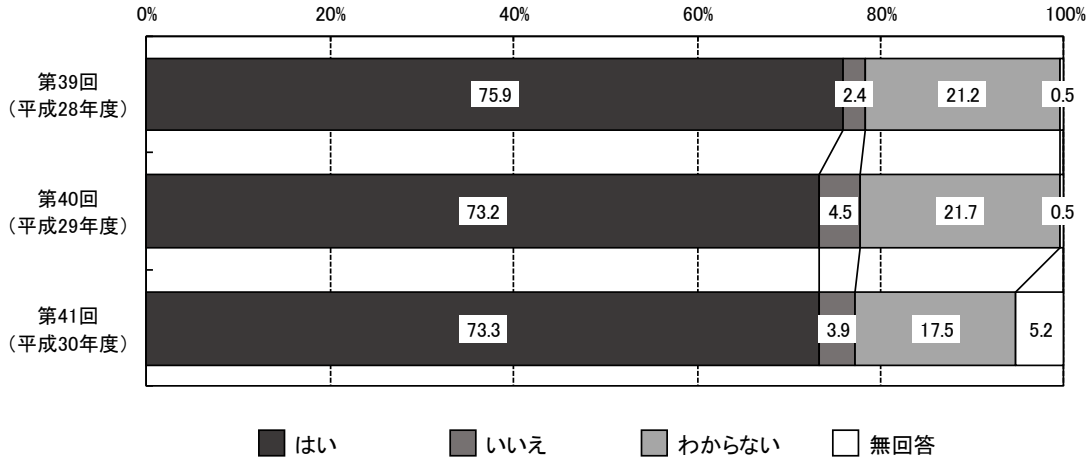


図 7-2【前々回・前回比較】 今後も岐阜県に住み続けたいか

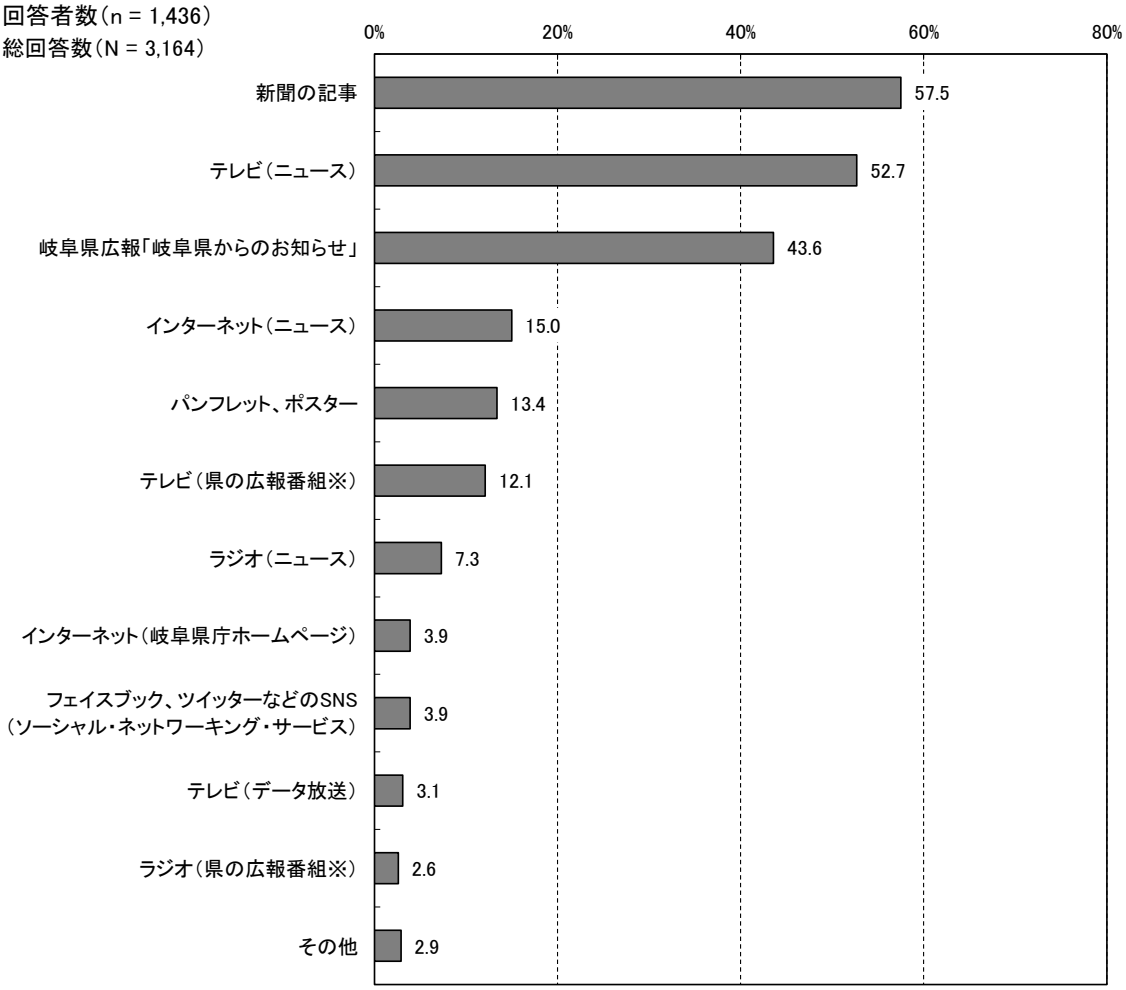


２．２　県の取り組み全般について

問８　施策や事業についての情報の入手方法

問８　あなたは、岐阜県が行っている施策や事業を、何によって知ることが多いですか。（いくつでも）

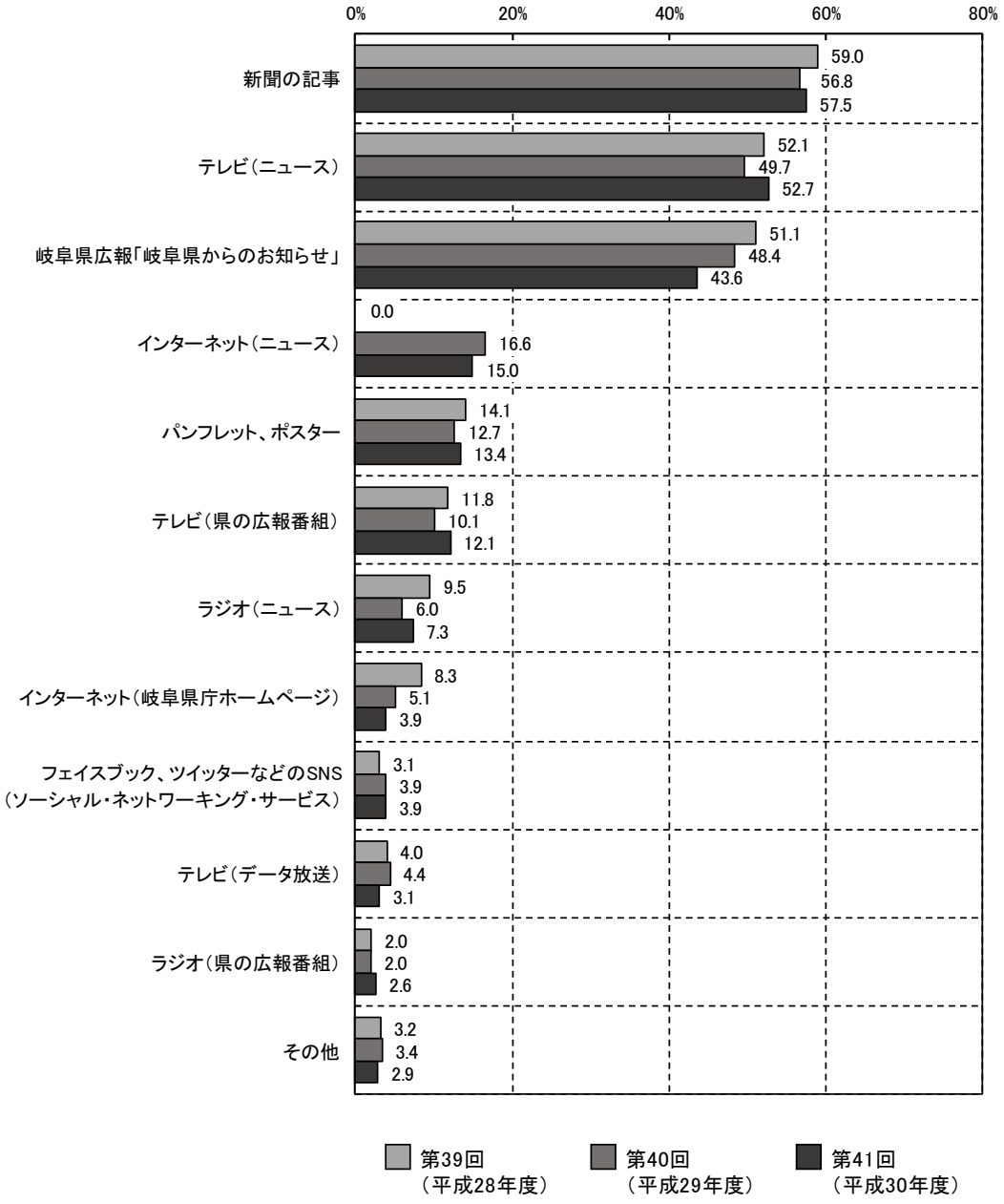
図 8-1　施策や事業についての情報の入手方法



※ 県の広報番組：（テレビ）ぎふチャン（岐阜放送）「ぎふ県政ほっとライン」「ぎふ県だより」
（ラジオ）エフエム岐阜「GIFU インフォメーション」「ギフトピ」
ぎふチャン（岐阜放送）「ぎふ県だより」「週刊ぎふタイム」

※ 選択肢、「インターネット（ニュース）」は第 40 回調査より

図 8-2 【前々回・前回比較】 施策や事業についての情報の入手方法



問９　県事業への関心の有無

問９　あなたは、岐阜県が行っている事業やその進め方について、関心をお持ちですか。（１つだけ）

図 9-1　県事業への関心の有無

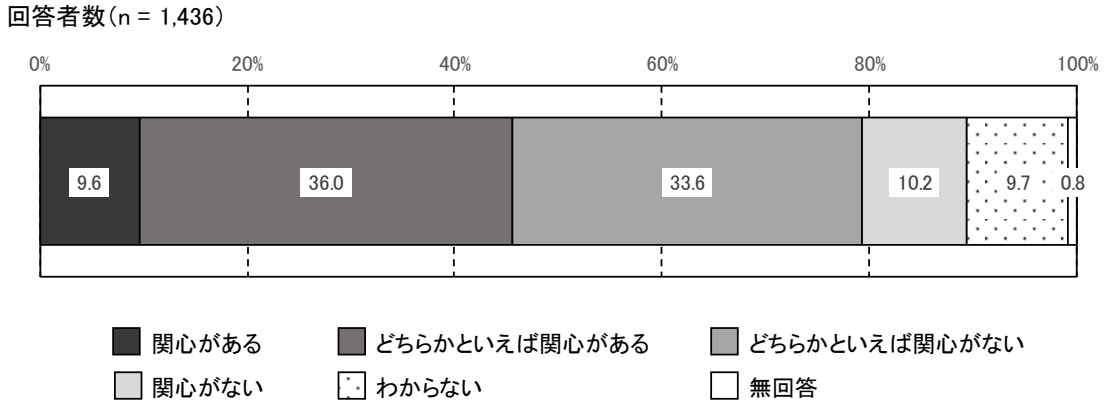
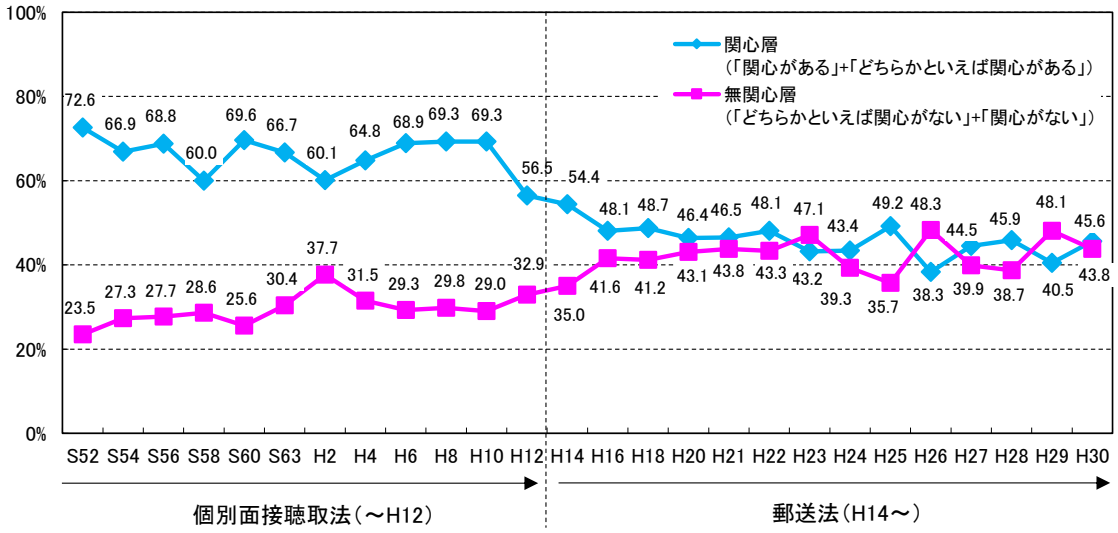


図 9-2【経年変化】県事業への関心の有無



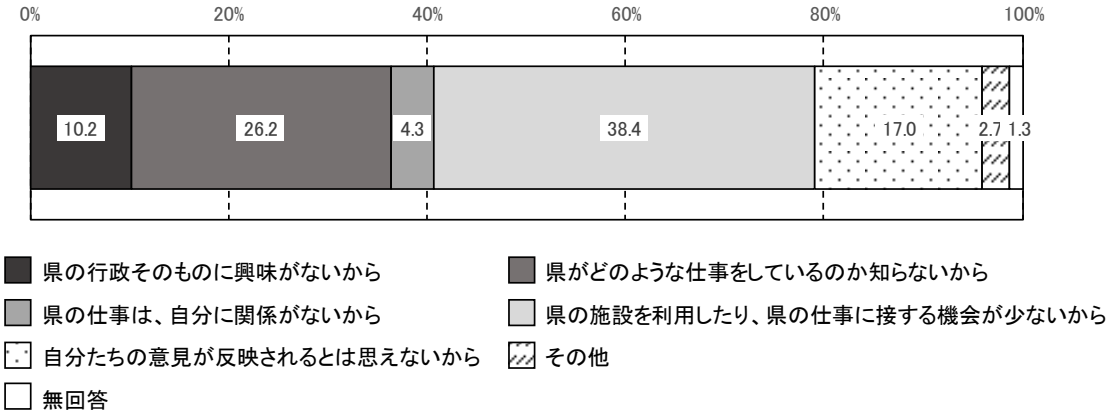
※ 調査方法:平成 12 年度まで個別面接聴取法、平成 14 年度から郵送法

問９－２　県事業に関心がない理由

問９－２　「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方にお尋ねします。
あなたが、岐阜県が行っている事業やその進め方に関心がないのは、どのような理由からですか。（１つだけ）

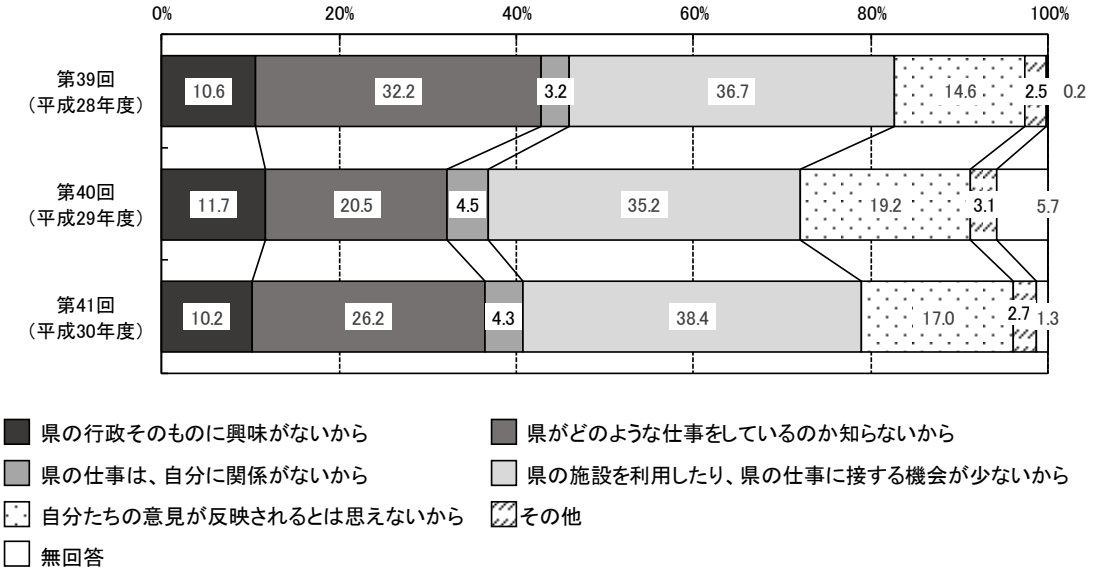
図 9-2-1　県事業に関心がない理由

回答者数（n = 630）※



※ 問 9 で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方のみ

図 9-2-2 【前々回・前回比較】 県事業に関心がない理由

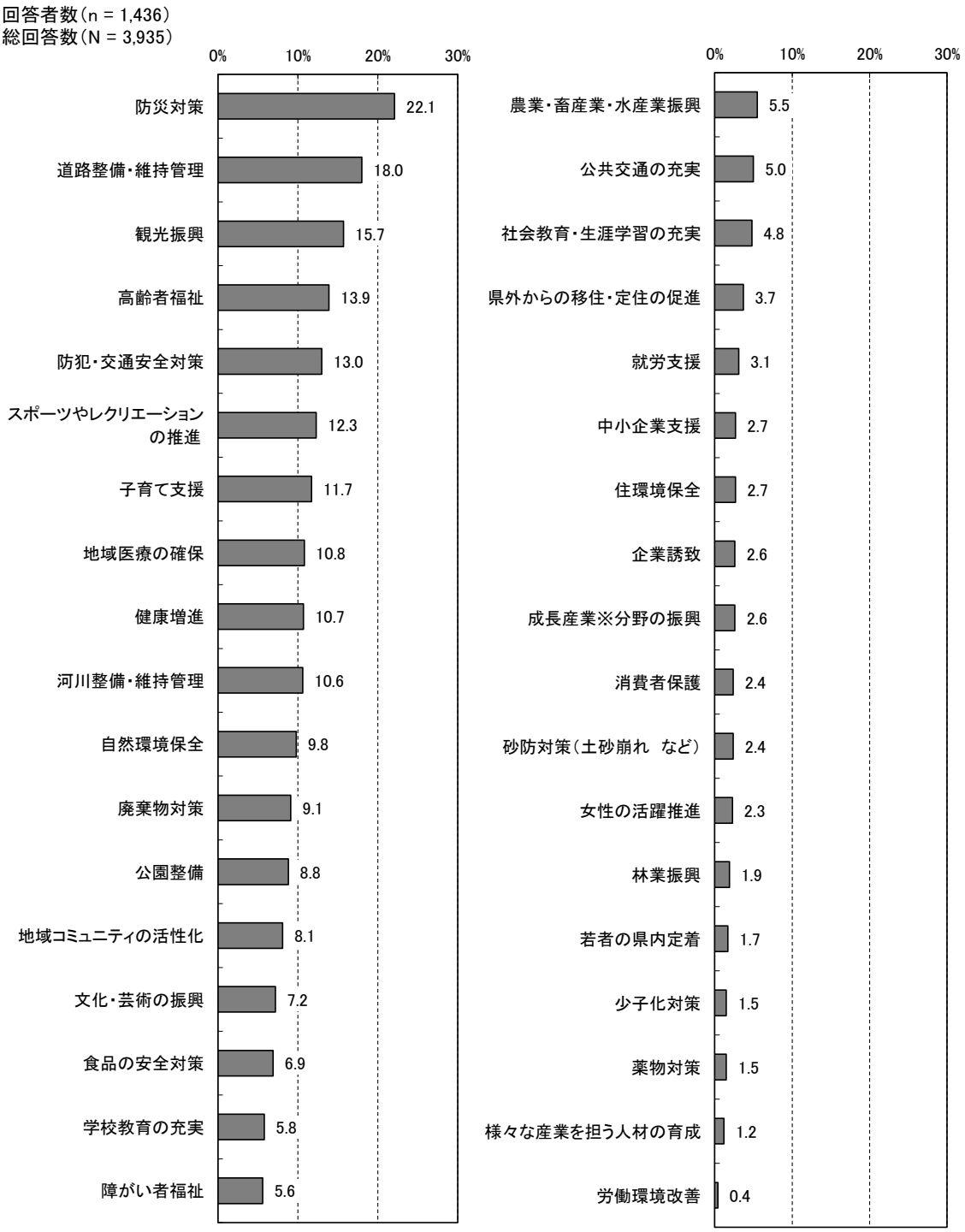


問１０　県の取り組みでよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野

問１０　あなたが、県の取り組みについてよくやっていると思うのは、どの分野ですか。
また、努力が足りないと思うのは、どの分野ですか。（それぞれ５つまで）

【県の取り組みでよくやっていると思う分野】

図 10-1　県の取り組みでよくやっていると思う分野

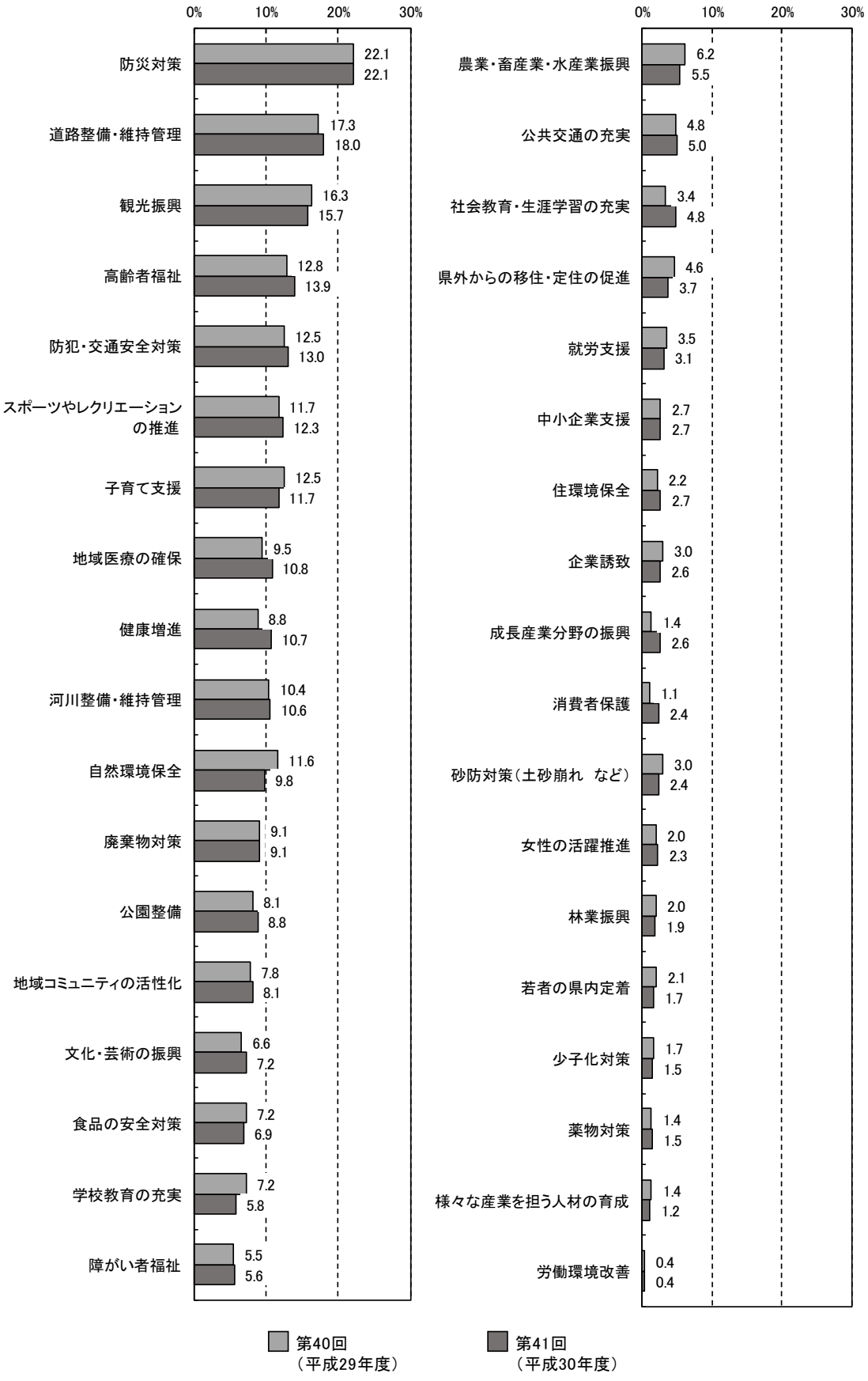


※ 成長産業：岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている。（H30 年度現在）

※ 第 39 回調査では、選択肢が 13 分野で 3 つまでの選択であった。

※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・住環境保全：騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

図 10-2 【前回比較】県の取り組みでよくやっていると思う分野



【県の取り組みで努力が足りないと思う分野】

図 10-3 県の取り組みで努力が足りないと思う分野

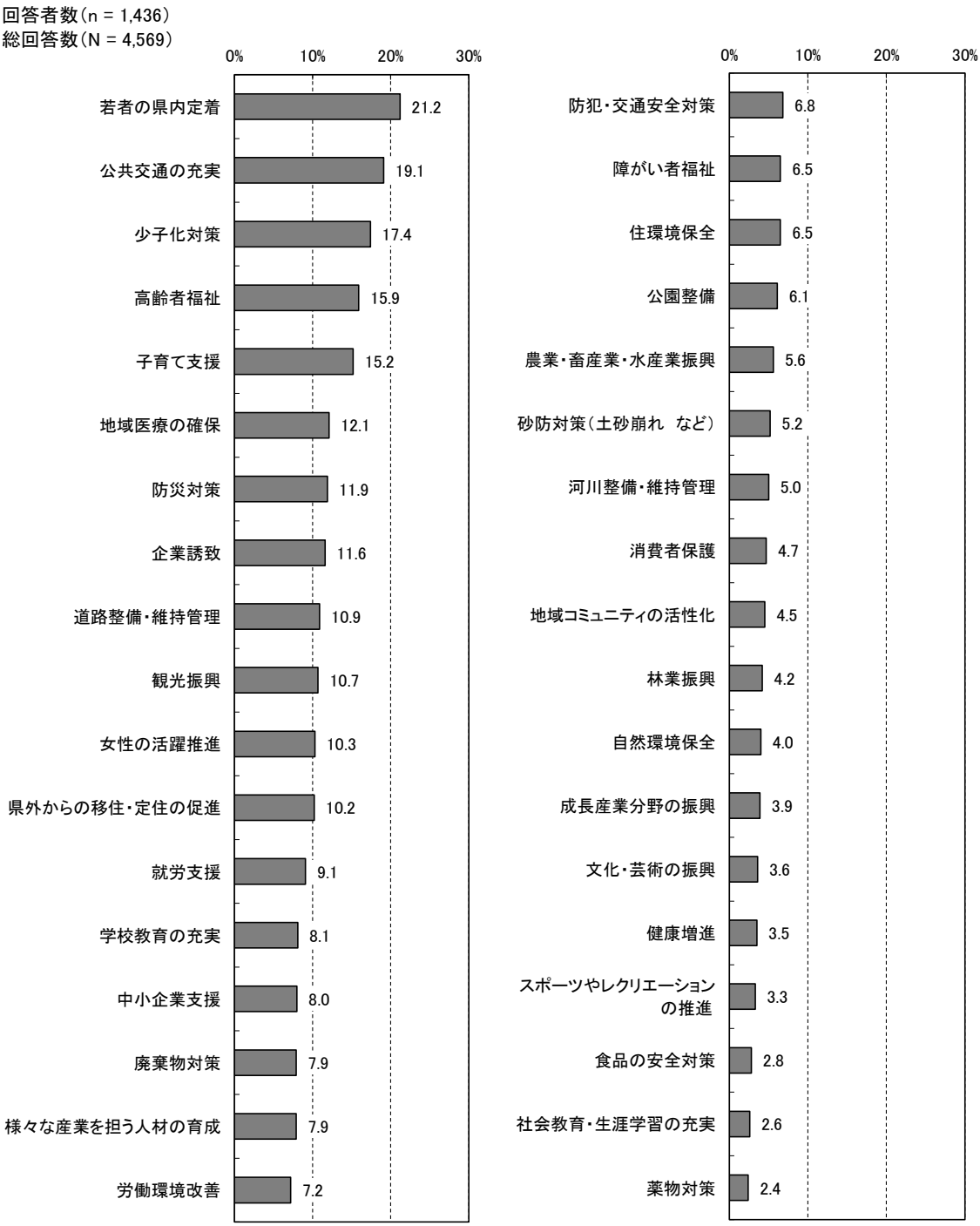
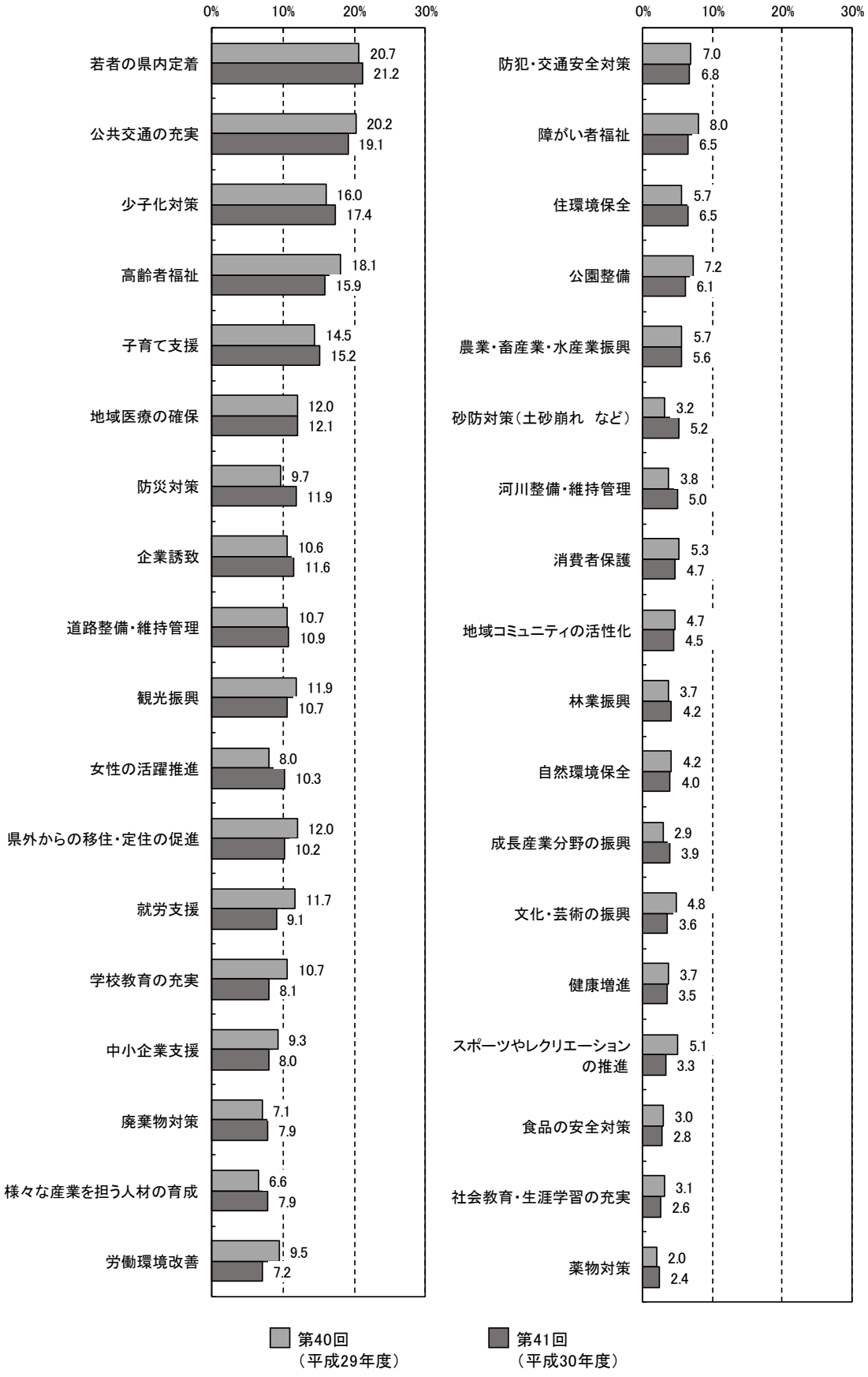


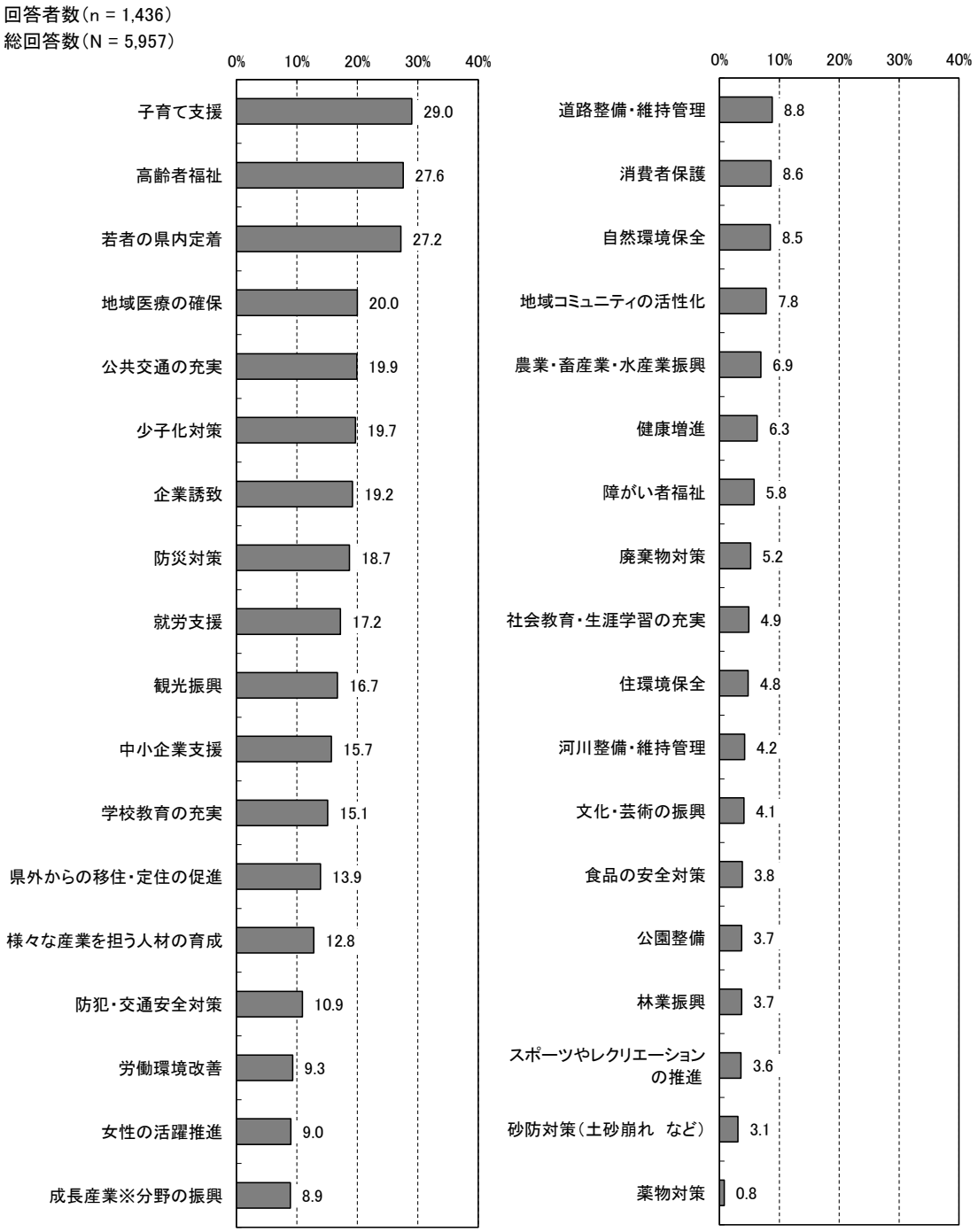
図 10-4 【前回比較】県の取り組みで努力が足りないと思う分野



問１１　重点的に進めるべきだと思う分野

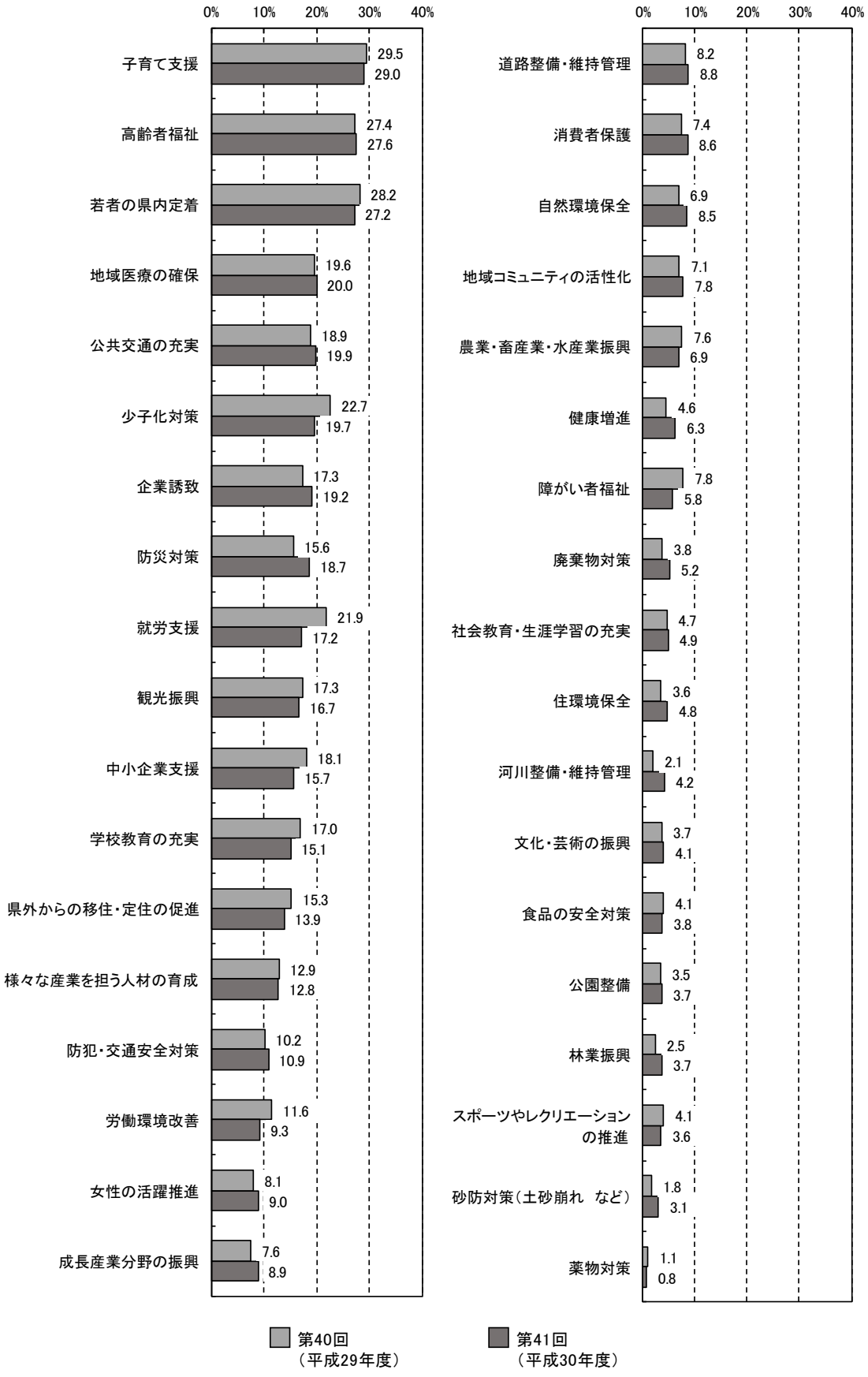
問１１　人口減少が進行する中、国内市場の縮小やグローバルな競争の一層の激化も予想され、いかに人や消費を地域に呼び込み、国内外から所得を得ていくかも大きな課題となっています。あなたは、こうした課題に対応するため、今後、県がどのような分野を重点的に進めるべきだと思いますか。（５つまで）

図 11-1　重点的に進めるべきだと思う分野



※ 成長産業：岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている。（H30 年度現在）
※ 第 39 回調査では、「特に重要だと思う県の施策」の設問で、選択肢は 32 施策で 5 つまでの選択であった。
※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・住環境保全：騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

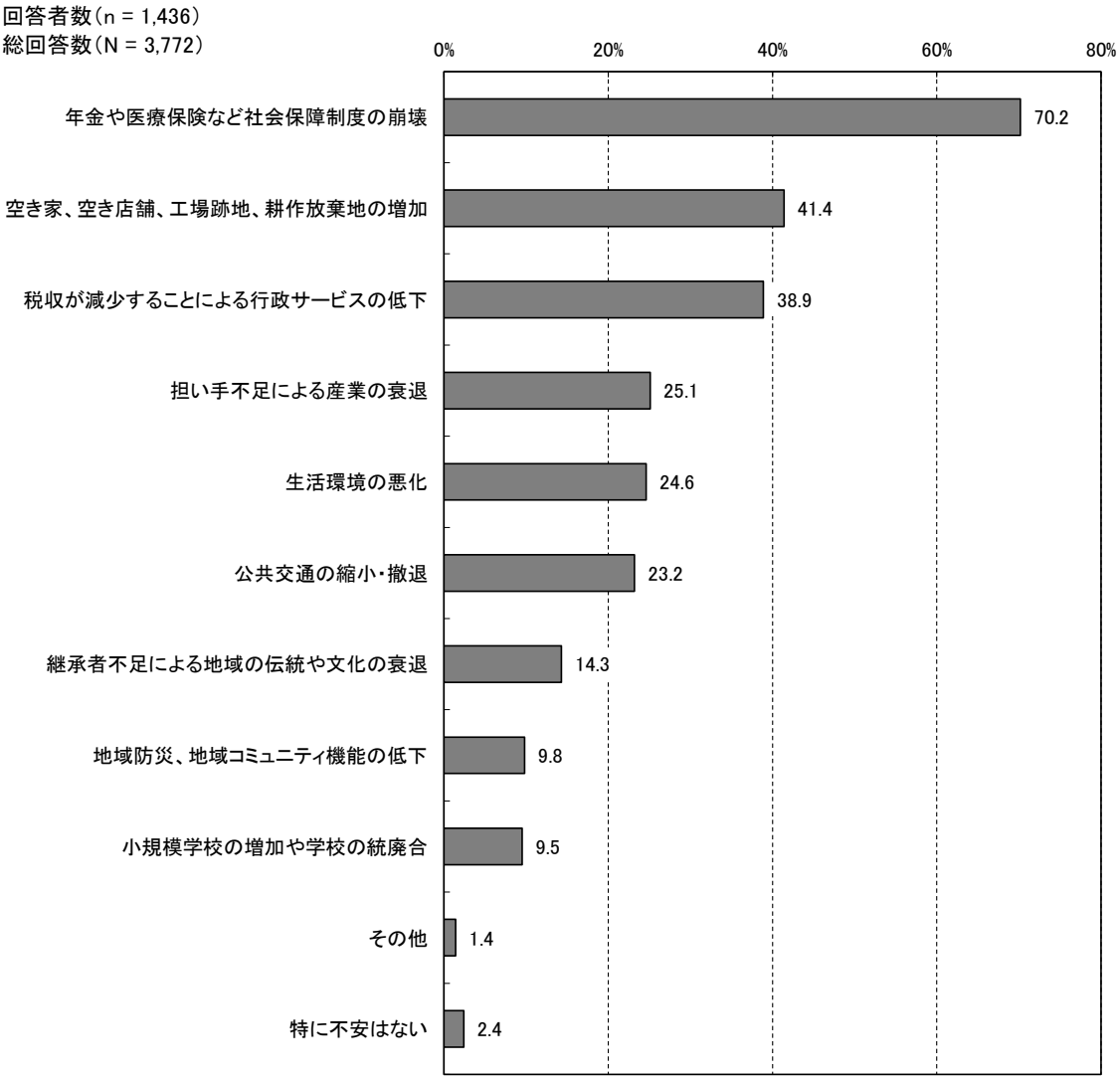
図 11-2 【前回比較】重点的に進めるべきだと思う分野



問１２　人口減少社会への将来不安

問１２　岐阜県の人口は、他の多くの道府県と同様に減少が進行していますが、あなたは、ご自身や地域の将来を考えた場合、特にどのようなことに不安を感じますか。（３つまで）

図 12-1　人口減少社会への将来不安



※ 第 39・40 回調査では、「人口減少社会への将来不安」は聞いていない。
※ 本問における選択肢は、図表の構造上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・税収が減少することによる行政サービスの低下：福祉サービス、上下水道・道路等の維持・管理など

問１３　国の内外に誇れるもの

問１３　あなたは、人や消費を国の内外から県内に呼び込むために、岐阜県が国の内外に誇れるものは何だと思いますか。（１つだけ）

図 13-1　国の内外に誇れるもの

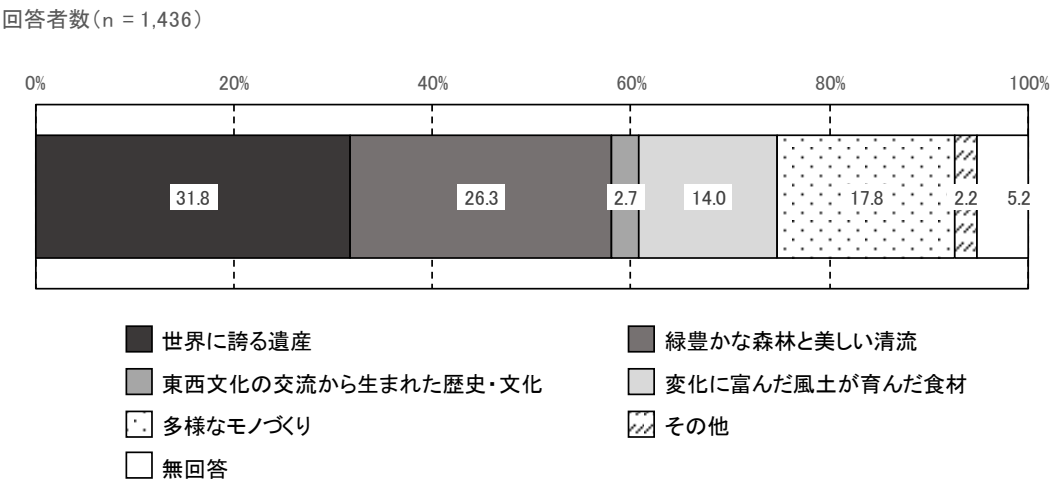
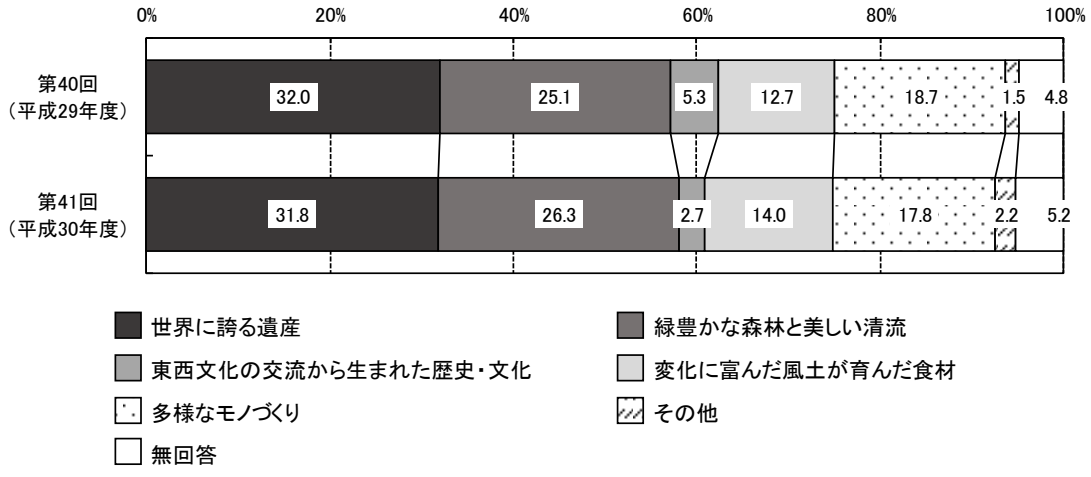


図 13-2【前回比較】 国の内外に誇れるもの

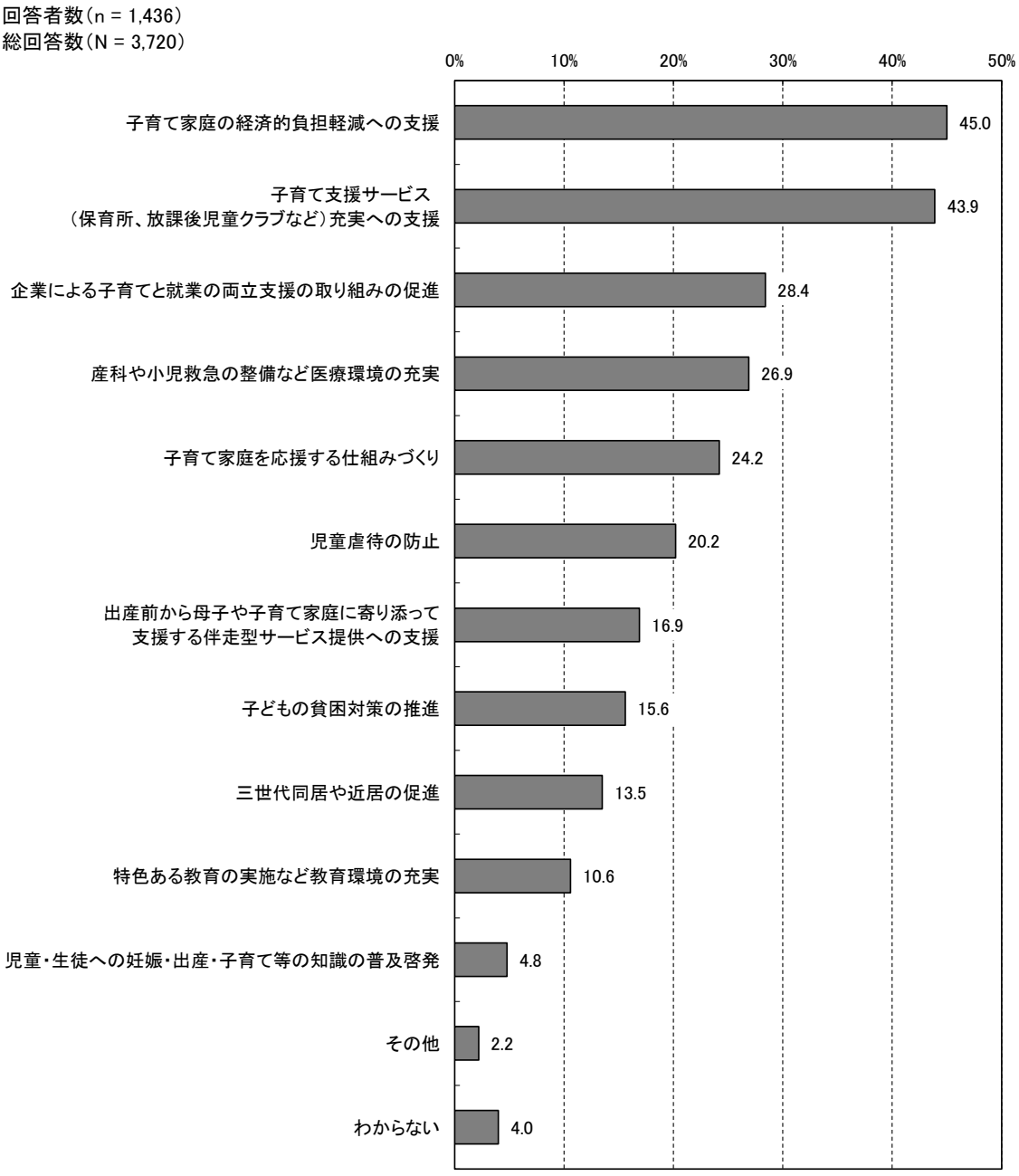


※ 第 39 回調査では、「国の内外に誇れるもの」は聞いていない。
※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略しているものがある。
・世界に誇る遺産：ユネスコ世界文化遺産「白川郷合掌造り集落」、ユネスコ無形文化遺産「本美濃紙、山・鉾・屋台行事」、世界かんがい施設遺産「曽代用水」、世界農業遺産「清流長良川の鮎」
・緑豊かな森林と美しい清流：緑豊かな森林と美しい清流に代表される自然や景観
・東西文化の交流から生まれた歴史・文化：古戦場や城跡、伝統的な街並み、地歌舞伎など
・変化に富んだ風土が育んだ食材：飛騨牛、鮎、柿、栗、いちご、トマト、米など
・多様なモノづくり：木工、和紙、刃物、陶磁器などの地域産業や機械、航空宇宙産業など

問１４　子育て支援への対策

問１４　あなたは、子育て支援として、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。（３つまで）

図 14-1　子育て支援への対策



※ 第 39・40 回調査では、「子育て支援への対策」は聞いていない。

問１４－２　地域全体で子育てを支える環境の整備

問１４－２　あなたがお住まいの地域では、地域全体で子育てを支える環境が整っていると思いますか。（１つだけ）

図 14-2-1　地域全体で子育てを支える環境の整備

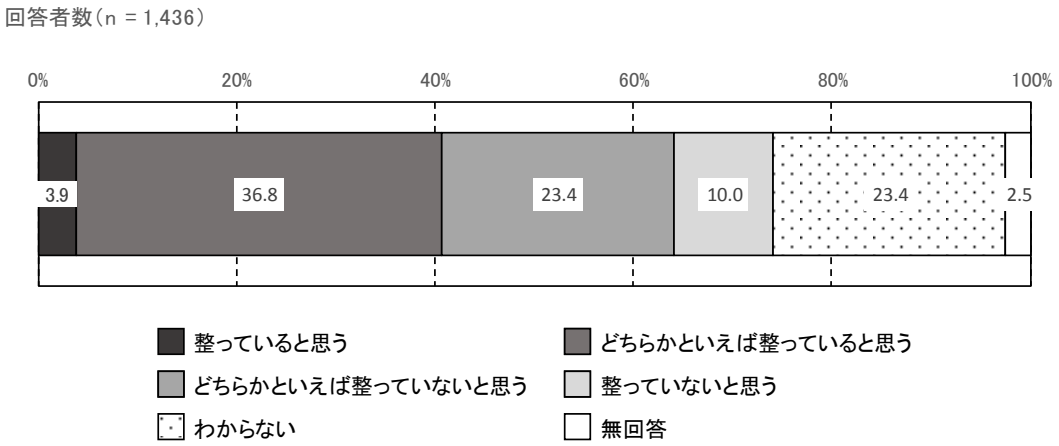
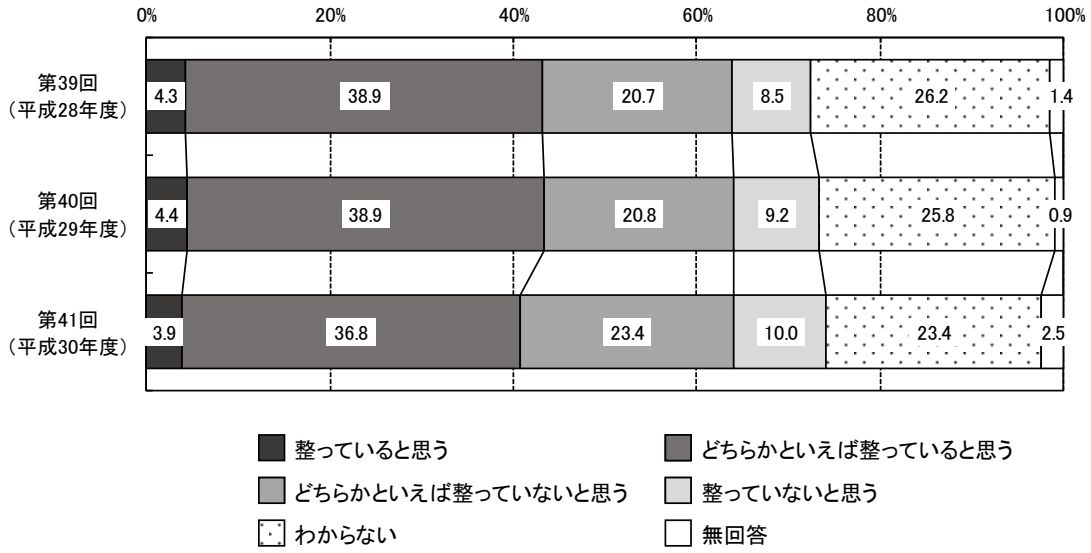


図 14-2-2【前々回・前回比較】地域全体で子育てを支える環境の整備

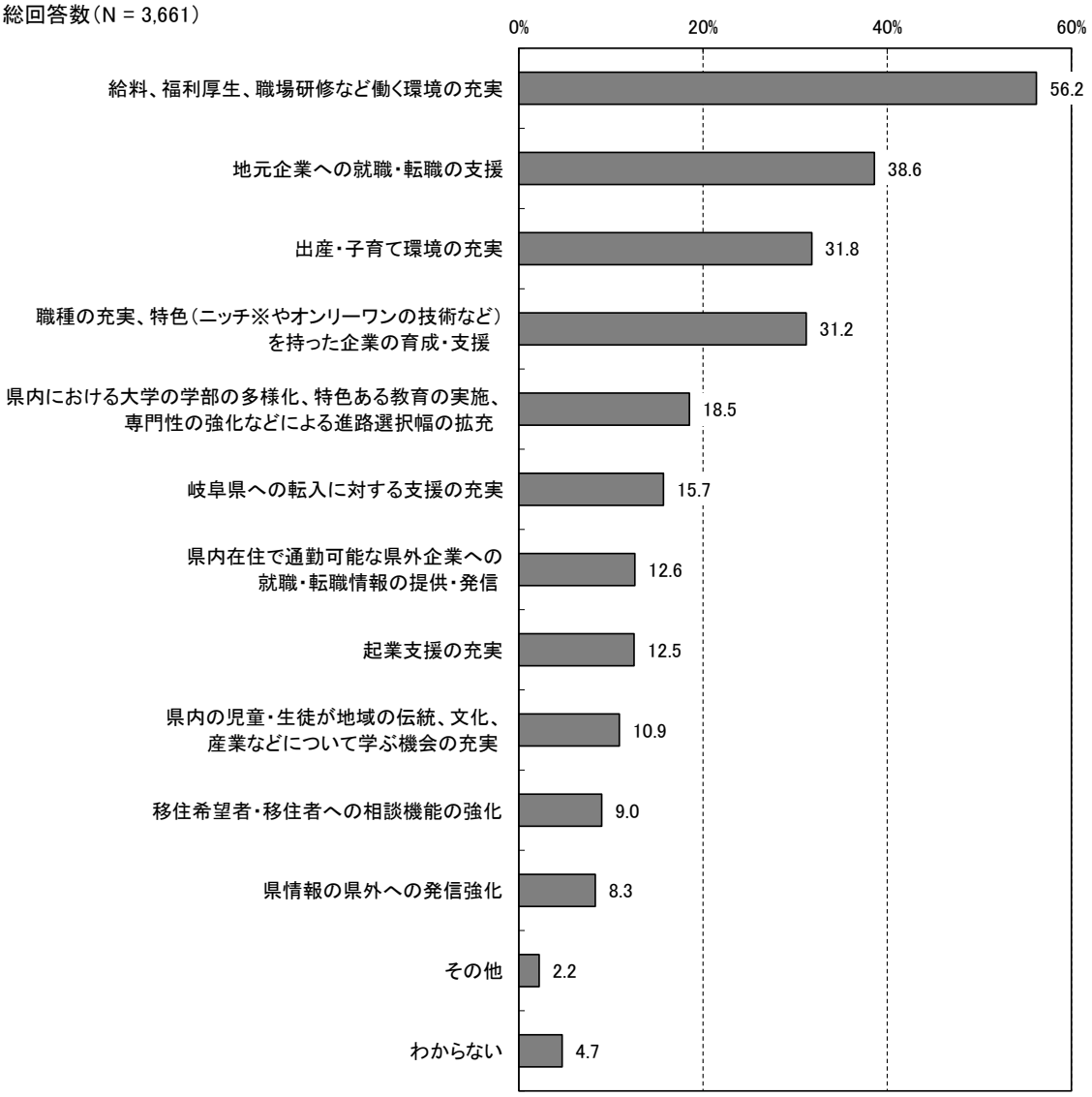


問１５　若者の県内定着への対策

問１５　あなたは、若者が県内に定着するために、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。（３つまで）

図 15-1　若者の県内定着への対策

回答者数（n = 1,436）
総回答数（N = 3,661）



※ ニッチ：潜在的なニーズがありながら、あまり手を付けられずに隙間のようになっている分野。特定の需要や顧客が見込まれる分野

※ 第 39・40 回調査では、「若者の県内定着への対策」は聞いていない。

２．３　生活を取り巻くさまざまな課題について

問１６　「高齢者」「障がい者」を支える環境の整備

問１６　あなたがお住まいの地域では、「高齢者」「障がい者」を支える環境が整っていると思いますか。（それぞれ１つずつ）

【「高齢者」を支える環境の整備】

図 16-1 「高齢者」を支える環境の整備

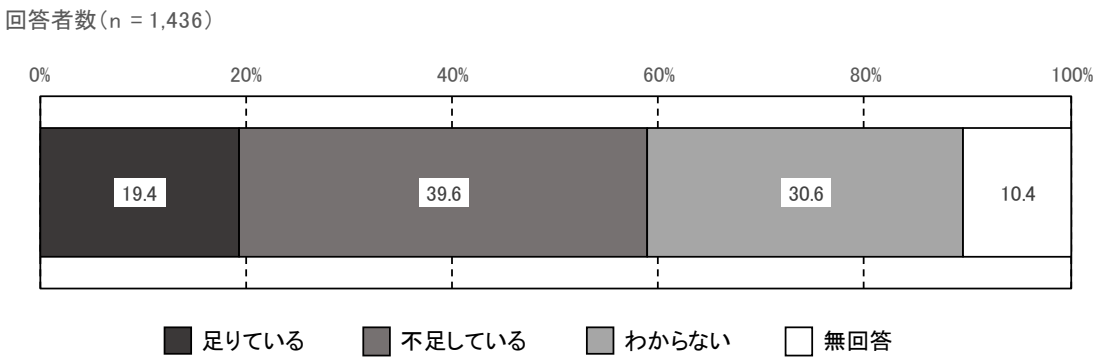
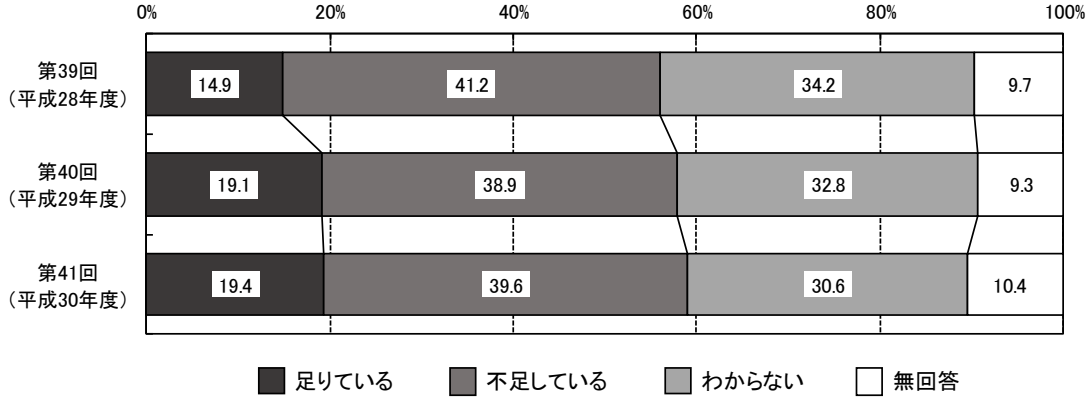


図 16-2 【前々回・前回比較】「高齢者」を支える環境の整備



※ 第 39･40 回調査では、設問は「あなたがおすまいの地域で、「高齢者」「障がい者」に対する福祉サービスは足りていると思いますか。」であった。

【「障がい者」を支える環境の整備】

図 16-3 「障がい者」を支える環境の整備

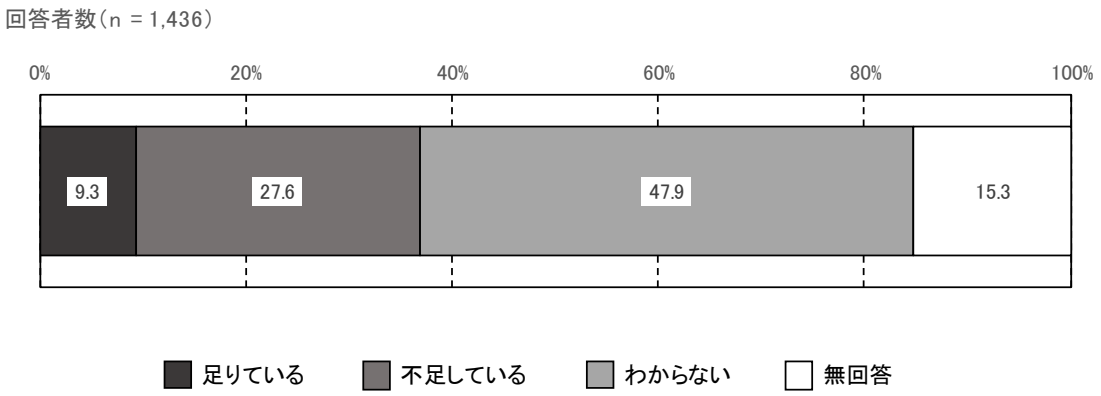
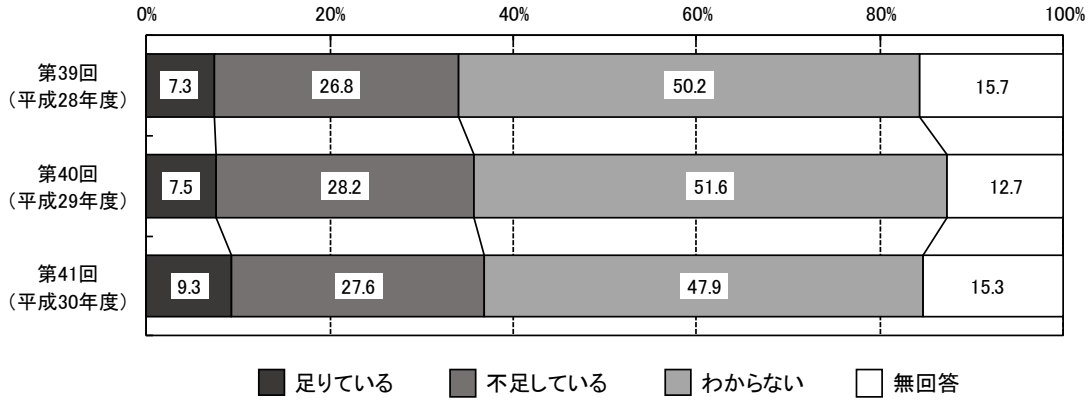


図 16-4 【前々回・前回比較】「障がい者」を支える環境の整備

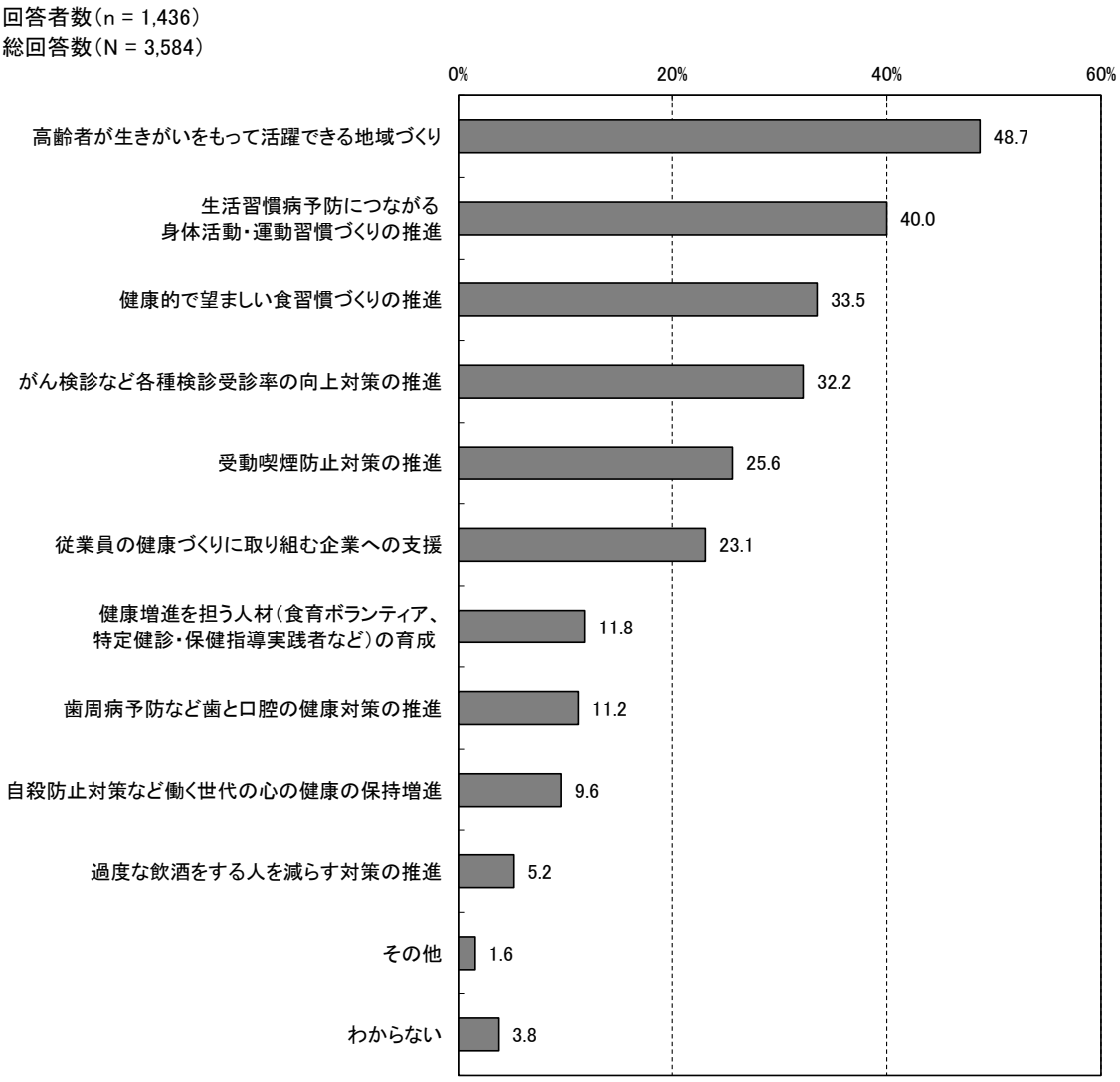


※ 第 39･40 回調査では、設問は「あなたがおすまいの地域で、「高齢者」「障がい者」に対する福祉サービスは足りていると思いますか。」であった。

問１７　健康づくりへの対策

問１７　人生１００年時代を迎えた今、あなたは、健康づくりのため、県がどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。（３つまで）

図 17-1　健康づくりへの対策

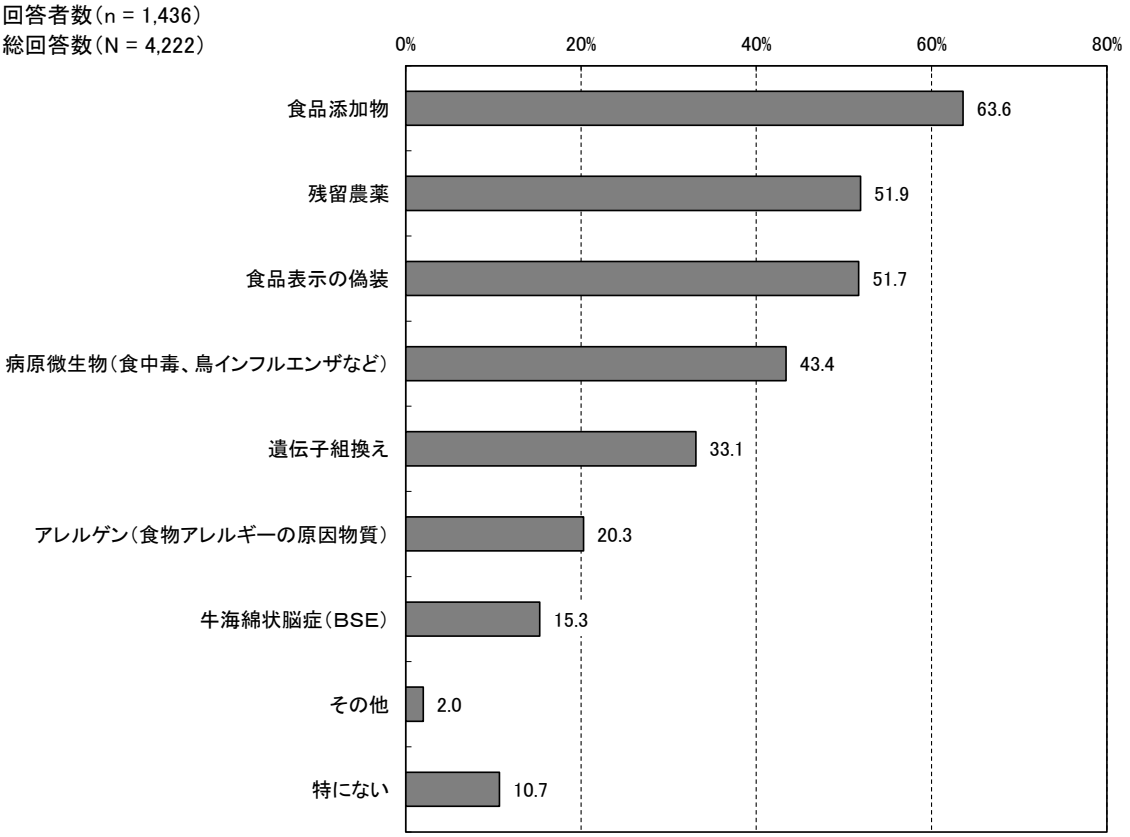


※ 第 39・40 回調査では、「健康づくりへの対策」は聞いていない。

問１８　食品の安全性への不安

問１８　あなたは、普段食べている食品の安全性について、どのような不安を感じることがありますか。（いくつでも）

図 18-1　食品の安全性への不安

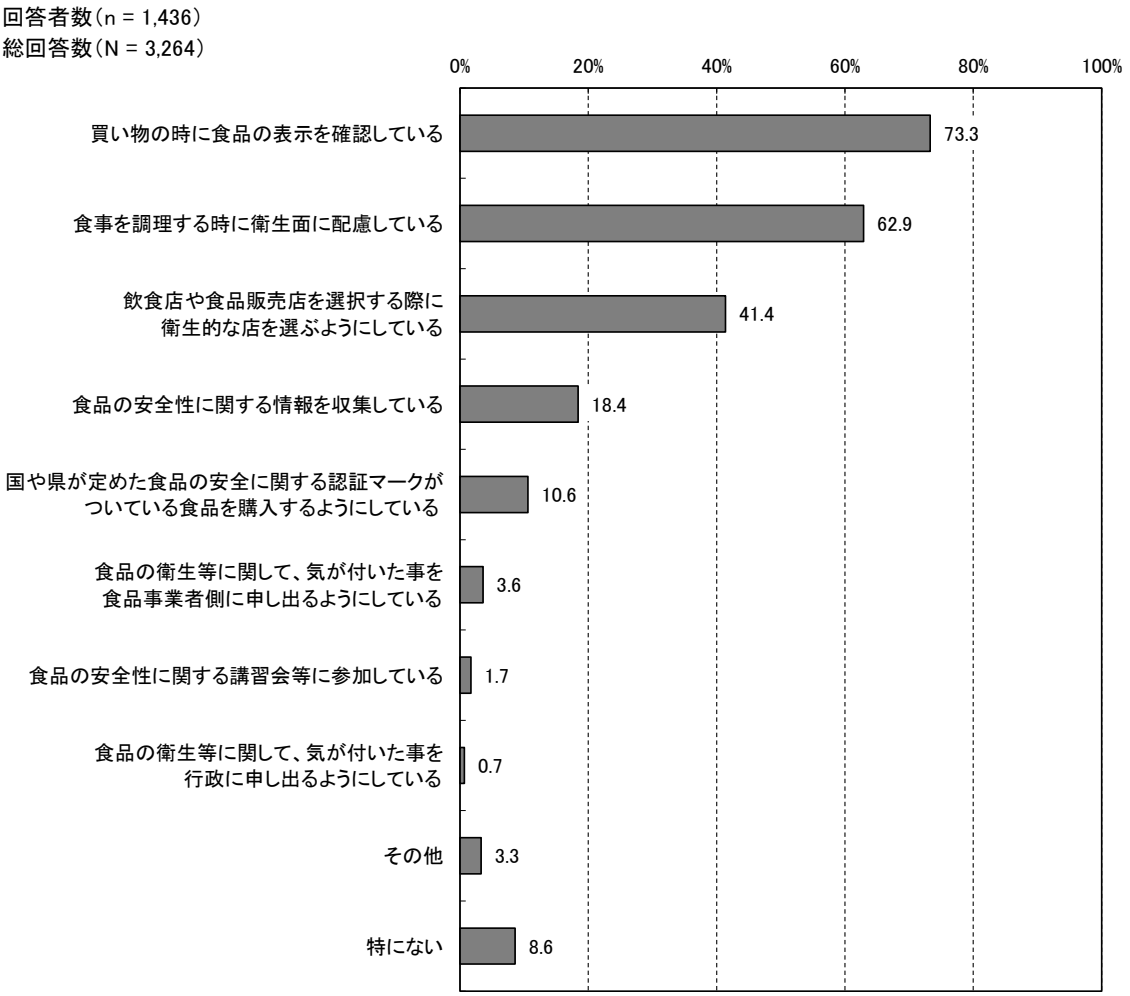


※ 第 39・40 回調査では、「食品の安全性への不安」は聞いていない。

問１８－２　食品の安全性への不安に対する県民の取り組み

問１８－２　あなたは、食品の安全性への不安に対応するため、どのようなことをしていますか。（いくつでも）

図 18-2-1　食品の安全性への不安に対する県民の取り組み



※ 第 39・40 回調査では、「食品の安全性への不安に対する県民の取り組み」は聞いていない。

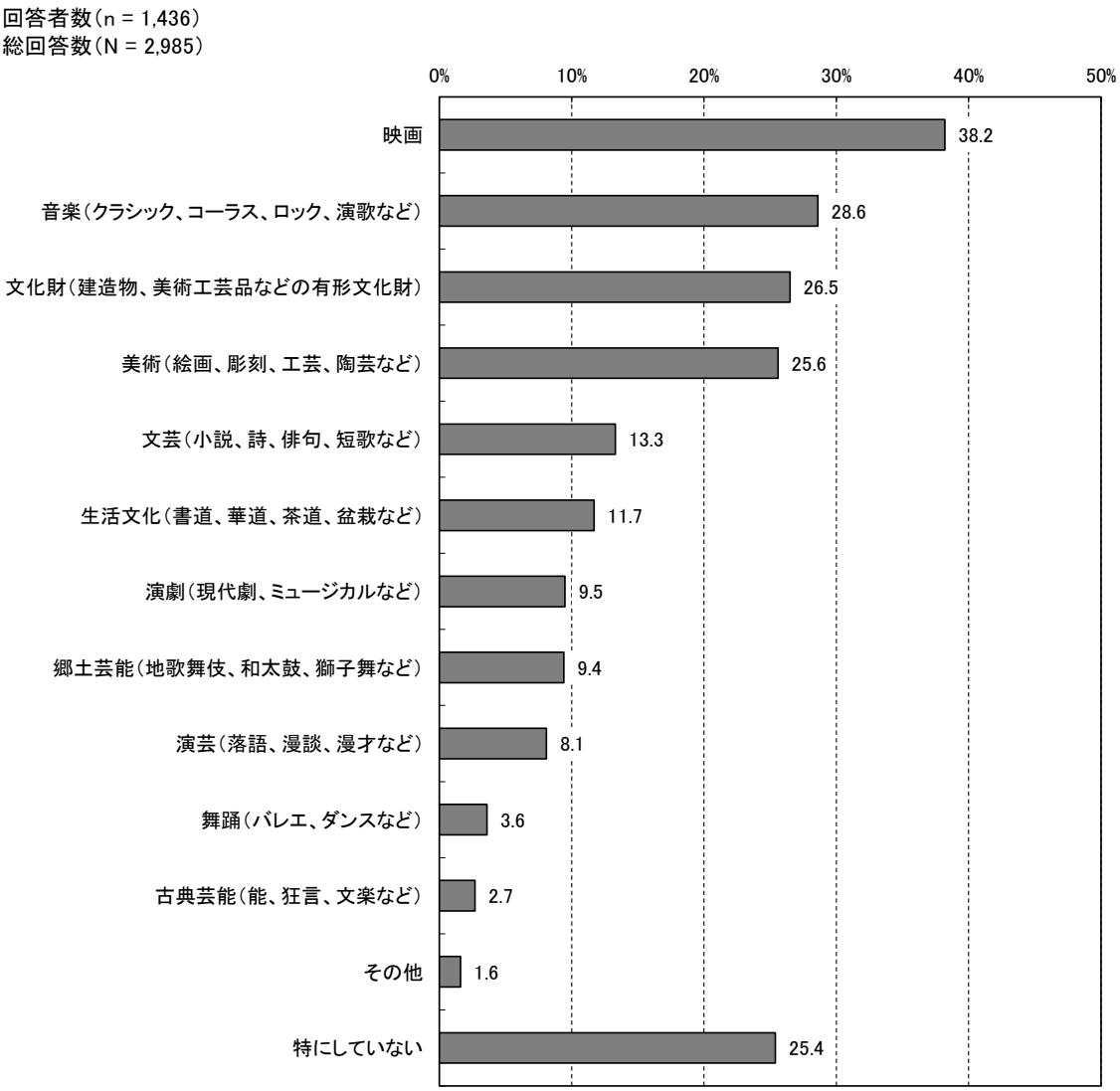
※ 本問における選択肢は、図表の構造上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・国や県が定めた食品の安全に関する認証マークがついている食品を購入するようにしている：HACCP※、特定保健用食品など

※ HACCP（ハサップ）：事業者が食中毒菌汚染等の危害要因を把握した上で、原材料の入荷から製品出荷までの全工程の中で、危害要因を除去低減させるために特に重要な工程を管理し、安全性を確保する衛生管理手法

問１９　過去１年間の文化活動・文化鑑賞

問１９　あなたは、過去１年間にどのような文化活動※や文化鑑賞※をしましたか。
（いくつでも）

図 19-1　過去1年間の文化活動・文化鑑賞

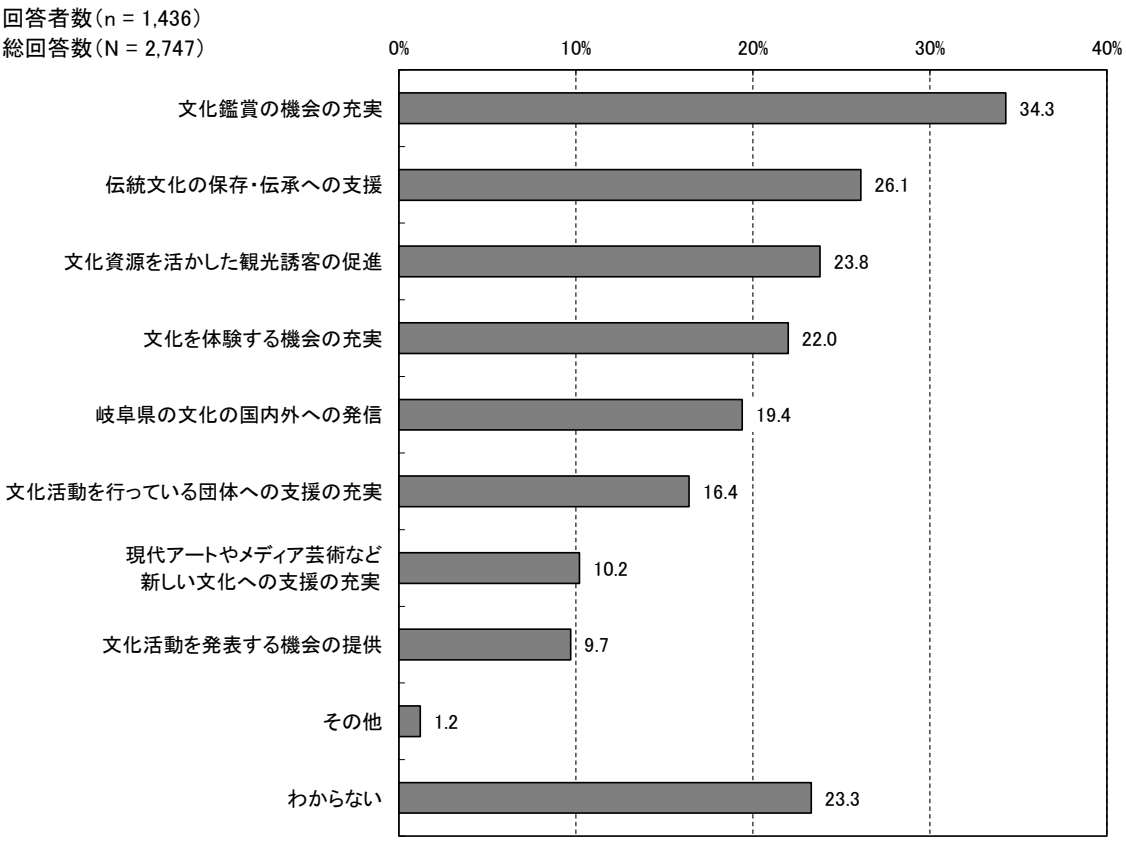


※ 文化活動:趣味や習い事のほか、郷土芸能への参加など自ら行う活動全般
※ 文化鑑賞:展覧会や公演、映画などの鑑賞・聴講のほか、建造物の見学を含む鑑賞全般
※ 第 39・40 回調査では、「過去1年間の文化活動・文化鑑賞」は聞いていない。

問１９－２　文化行政に望むこと

問１９－２　あなたは、県の文化行政にどのようなことを望みますか。（３つまで）

図 19-2-1　文化行政に望むこと



※ 第 39･40 回調査では、「文化行政に望むこと」は聞いていない。

問２０　過去１年間に犯罪にあったこと、危険を感じたことの有無

問２０　あなたは、過去１年間に犯罪被害にあったこと、または犯罪に巻き込まれる危険を感じたことがありますか。（１つだけ）

図 20-1　過去1年間に犯罪にあったこと、危険を感じたことの有無

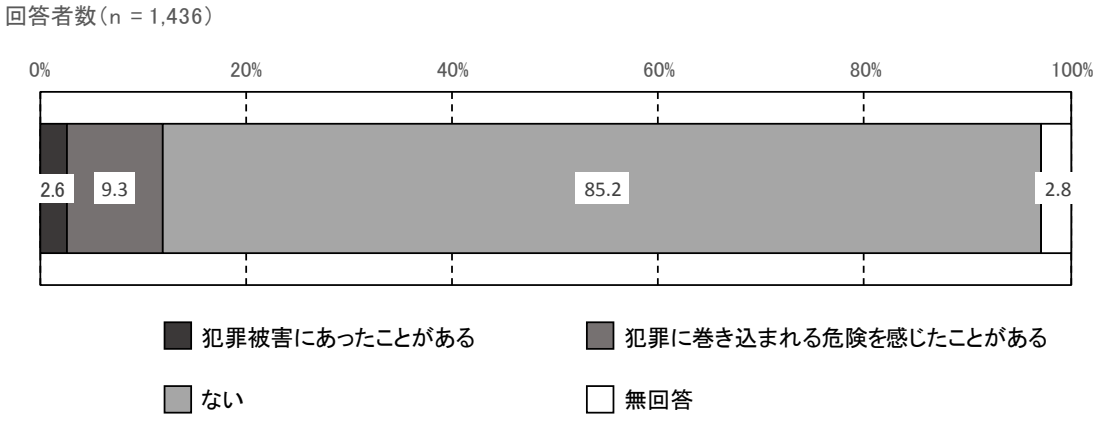
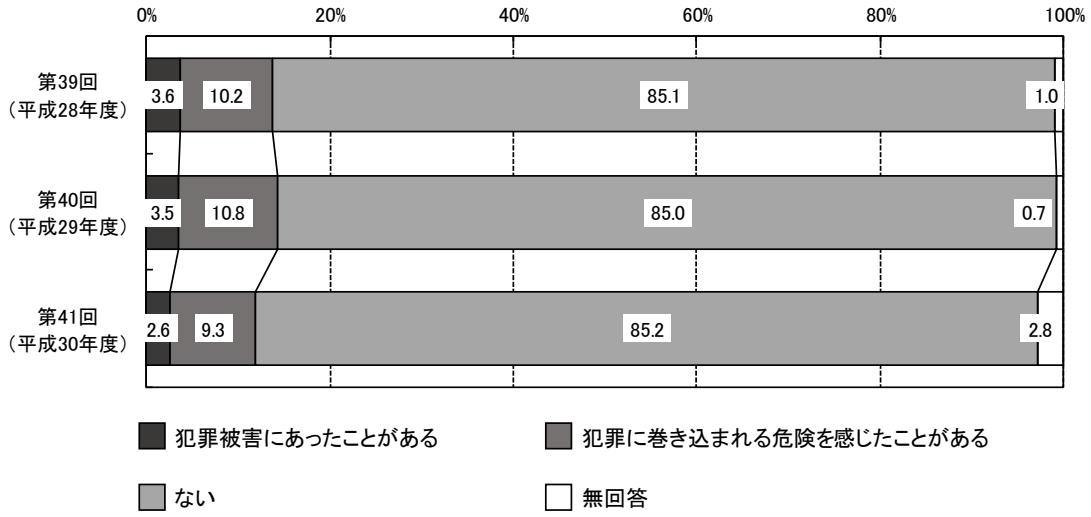


図 20-2 【前々回・前回比較】 過去 1 年間に犯罪にあったこと、危険を感じたことの有無



問２１　不審な電話による勧誘被害の対策

問２１　あなたは、不審な電話による悪質商法や振り込め詐欺被害などを防ぐためにどのようなことをしていますか。（１つだけ）

図 21-1　不審な電話による勧誘被害の対策

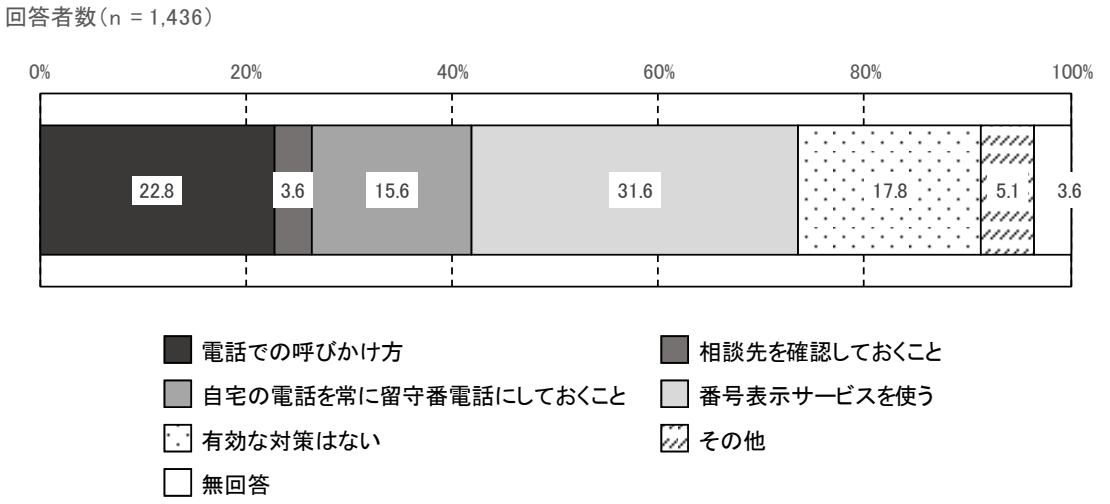
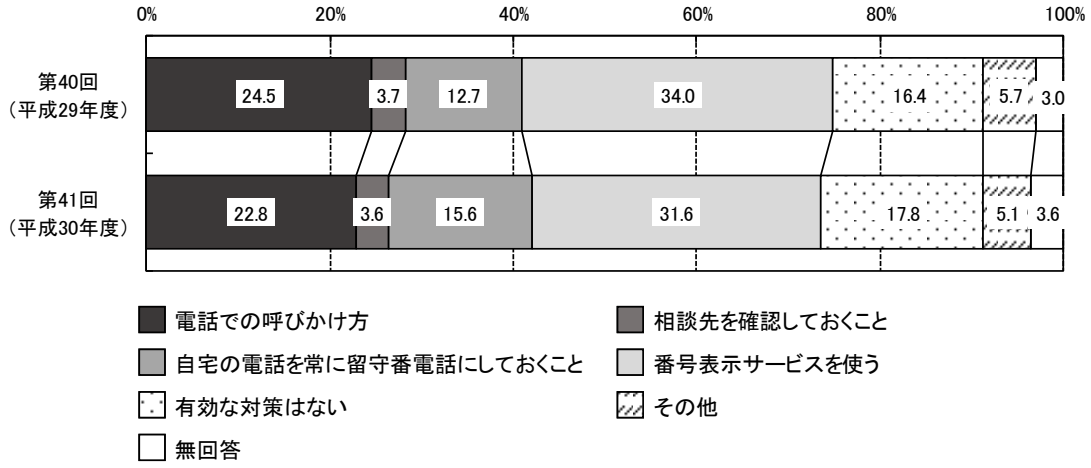


図 21-2 【前回比較】不審な電話による勧誘被害の対策



※ 第 39 回調査では、「不審な電話による勧誘被害の対策」は聞いていない。
※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・電話での呼びかけ方：日頃から家族と電話での呼びかけ方などについて話し合っておくこと
・番号表示サービスを使う：番号表示サービスを使って、知らない相手からの電話には出ないこと

問２２　社会貢献活動への参加

問２２　あなたは、ＮＰＯ（民間非営利組織）やボランティアなど、自発的に社会のために取り組む活動に参加していますか。（１つだけ）

図 22-1　社会貢献活動への参加

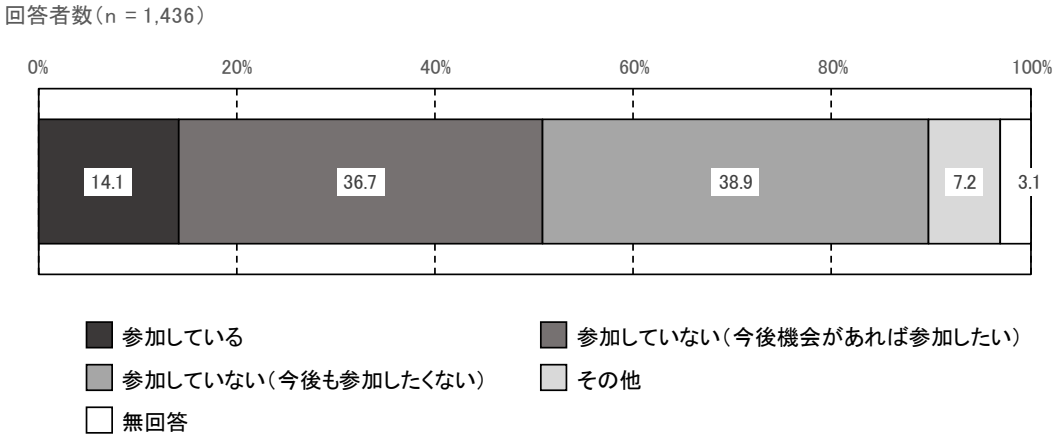
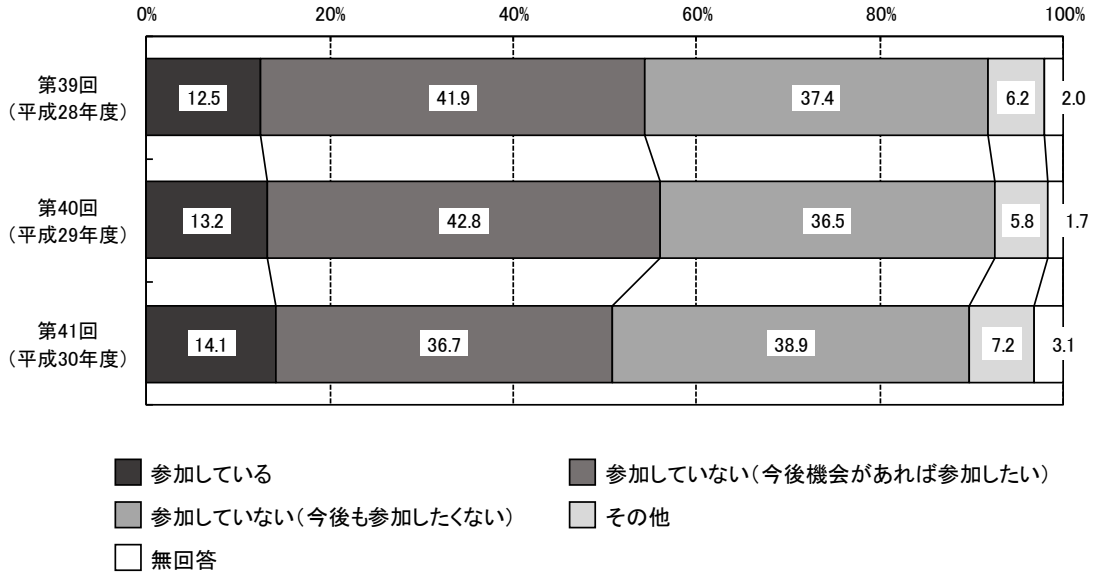


図 22-2 【前々回・前回比較】 社会貢献活動への参加



問２３　在住外国人との共生

問２３　現在、県内では、多くの外国人が暮らし、定住化が進んでいます。あなたは、在住外国人と共生する社会の実現についてどう思いますか。（１つだけ）

図 23-1 在住外国人との共生

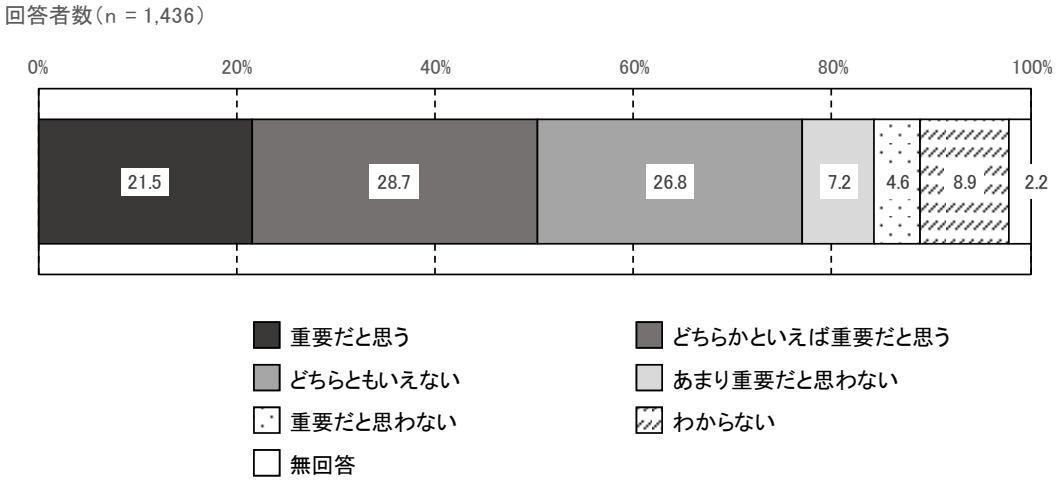
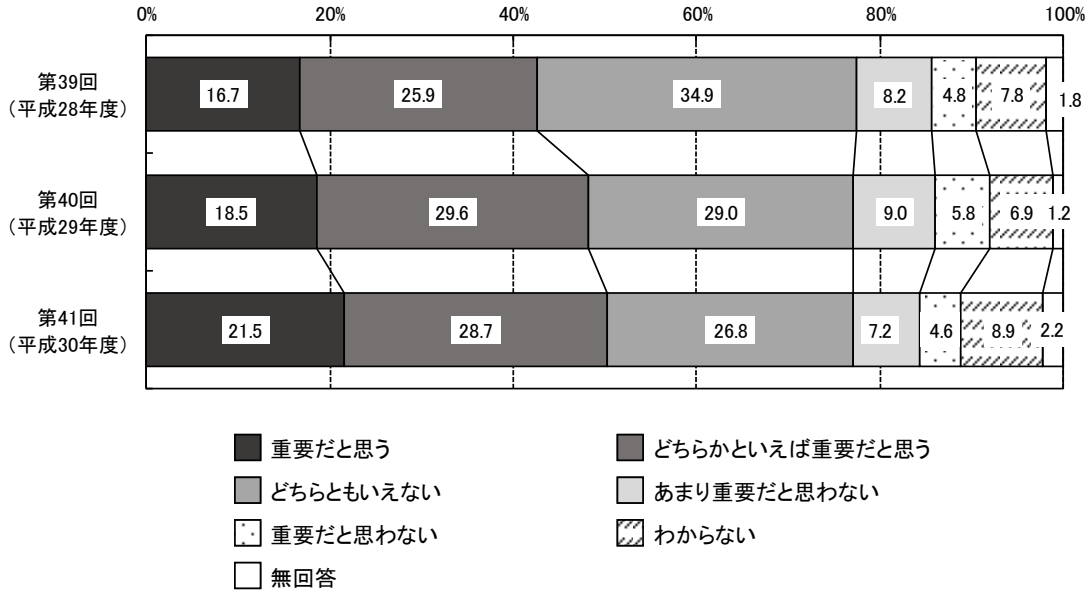


図 23-2 【前々回・前回比較】 在住外国人との共生



問２４　「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度

問２４　岐阜県では、県民の皆様に「清流の国ぎふ森林・環境税※」を負担していただき、豊かな森づくりや清流の保全に取り組んでいます。
あなたは、この「清流の国ぎふ森林・環境税」を知っていますか。（１つだけ）

図 24-1 「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度

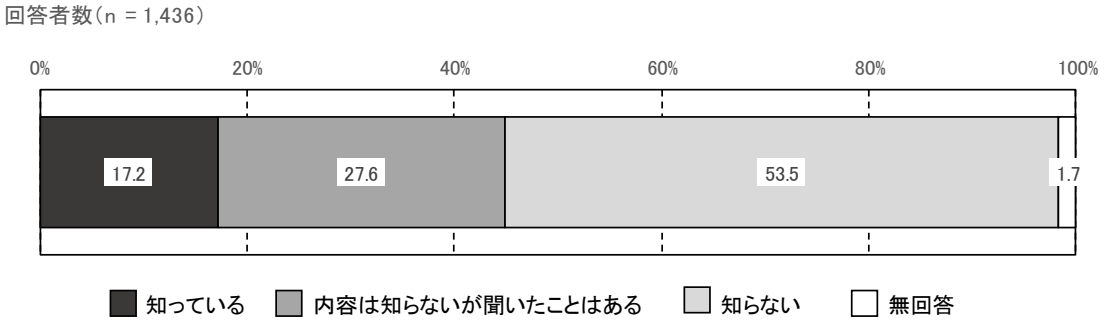
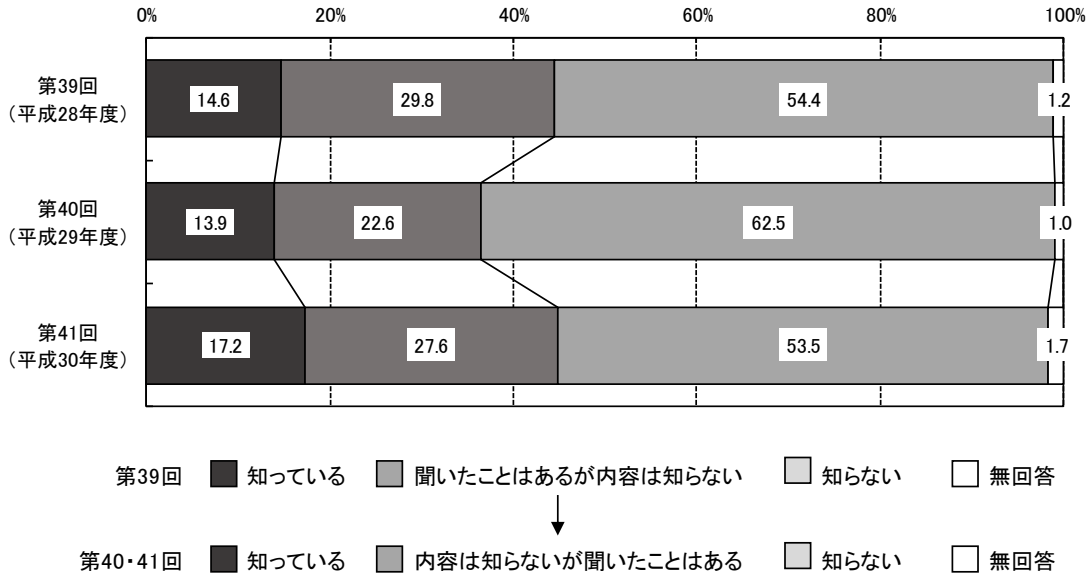


図 24-2 【前々回・前回比較】「清流の国ぎふ森林・環境税」の認知度



※ 清流の国ぎふ森林・環境税：自然環境の保全・再生を県民全体で支える取組みを進めるため、平成２４年度から導入している。個人は年額1，000円を個人県民税に上乗せして、法人は均等割額の１０%相当額を法人県民税の申告納付の際に併せて県に納めていただくもの。
※ 第 40 回調査で選択肢を変えているため、第 39 回の「聞いたことはあるが内容は知らない」は第 40 回の「内容は知らないが聞いたことはある」と比較している。

問２５　災害や緊急時の備え

問２５　あなたは、地震や台風などの災害や緊急時の備え※ができていますか。（１つだけ）

図 25-1　災害や緊急時の備え

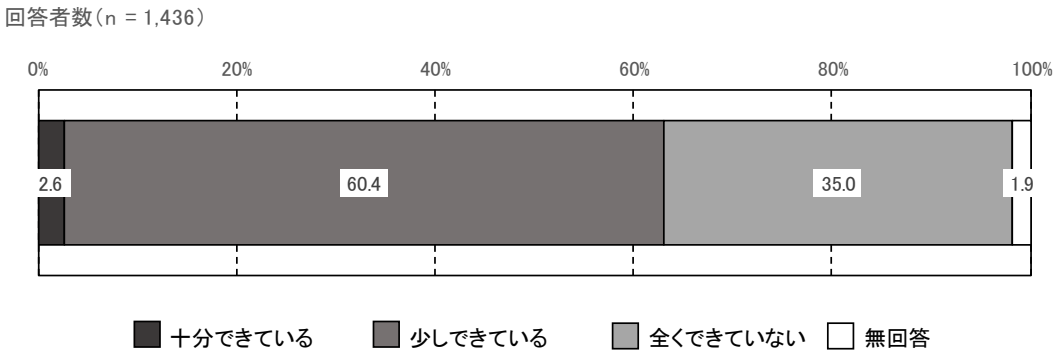
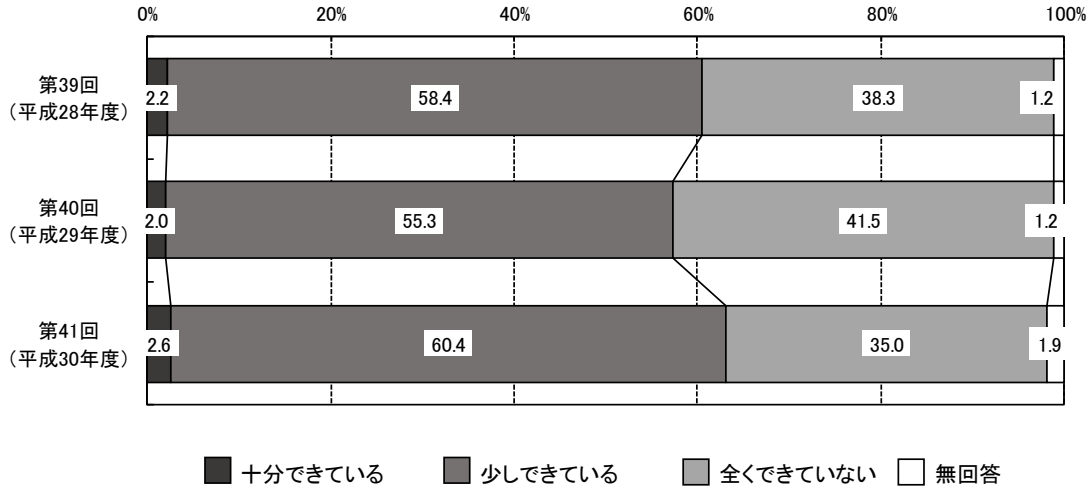


図 25-2 【前々回・前回比較】 災害や緊急時の備え



※ 災害や緊急時の備えの具体例：・地震に備えた家具類の固定
・避難路・避難場所の確認
・飲料水や食料品の備蓄
・非常持ち出し品（携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など）の用意　など

問２６　防災対策や避難行動の情報源

問２６　あなたは、台風や集中豪雨発生時に、防災対策や避難行動に役立つ情報を何によって知ることが多いですか。（いくつでも）

図 26-1 防災対策や避難行動の情報源

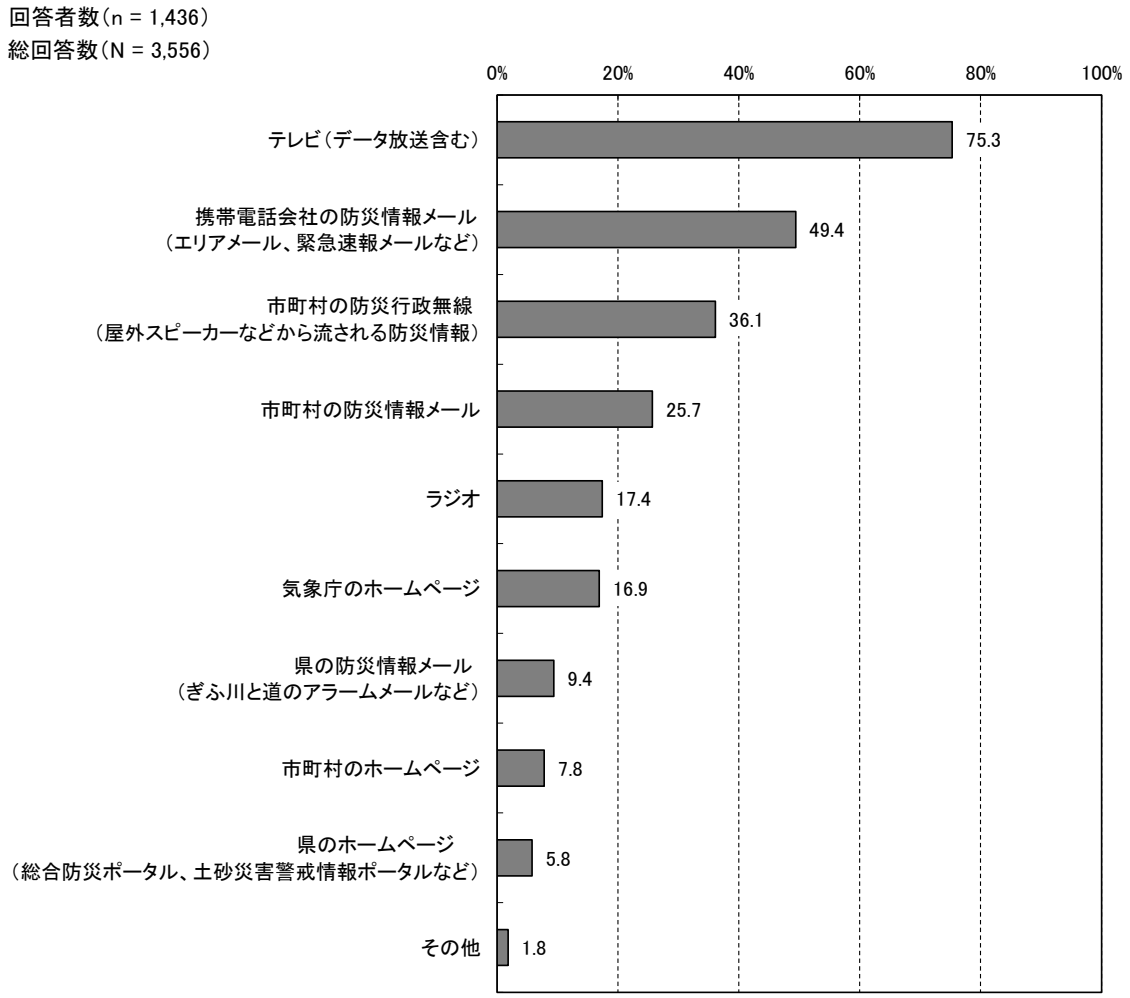
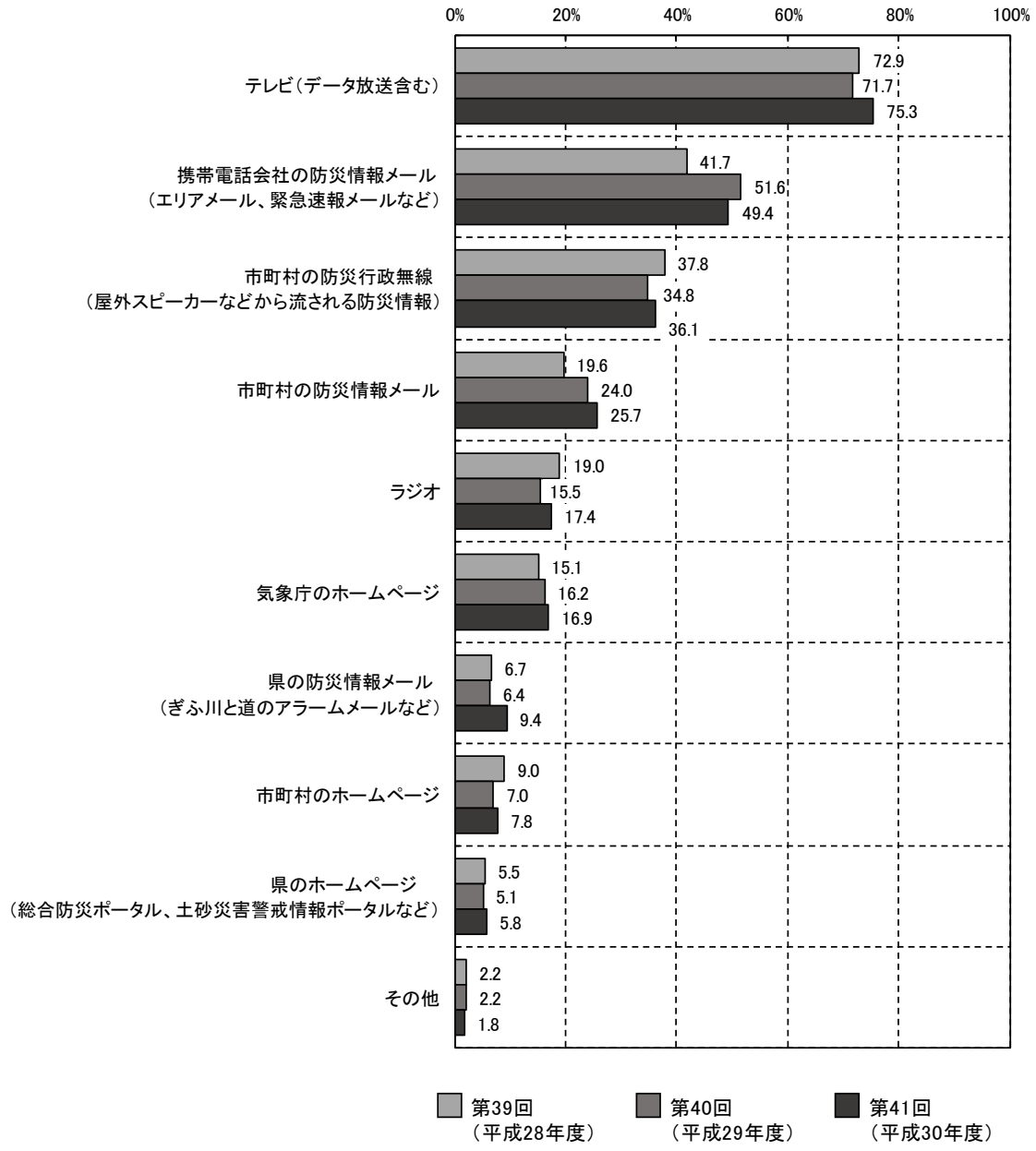


図 26-2 【前々回・前回比較】 防災対策や避難行動の情報源



問２７　避難情報に対する行動

問２７　あなたは、台風や集中豪雨発生時に市町村から「避難準備・高齢者等避難開始※」や「避難勧告」などの避難情報が発令された場合、勧告等に従って行動しますか。（１つだけ）

図 27-1　避難情報に対する行動

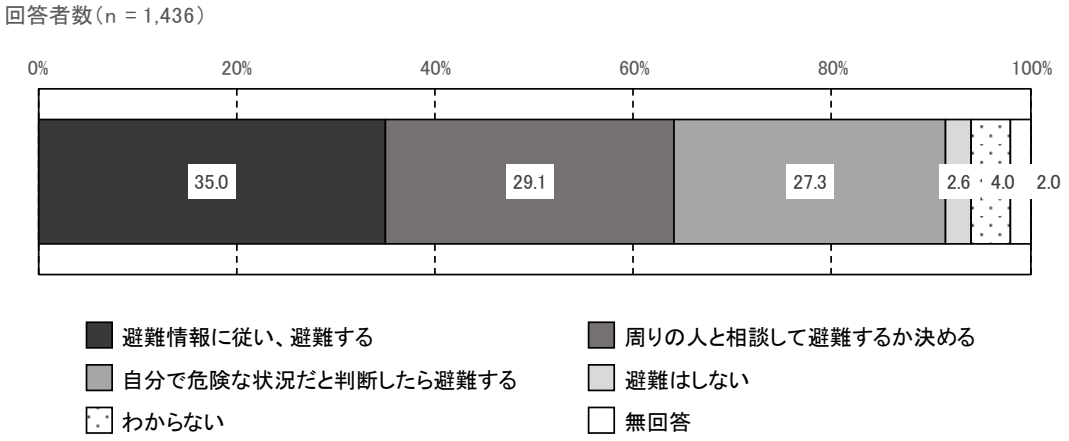
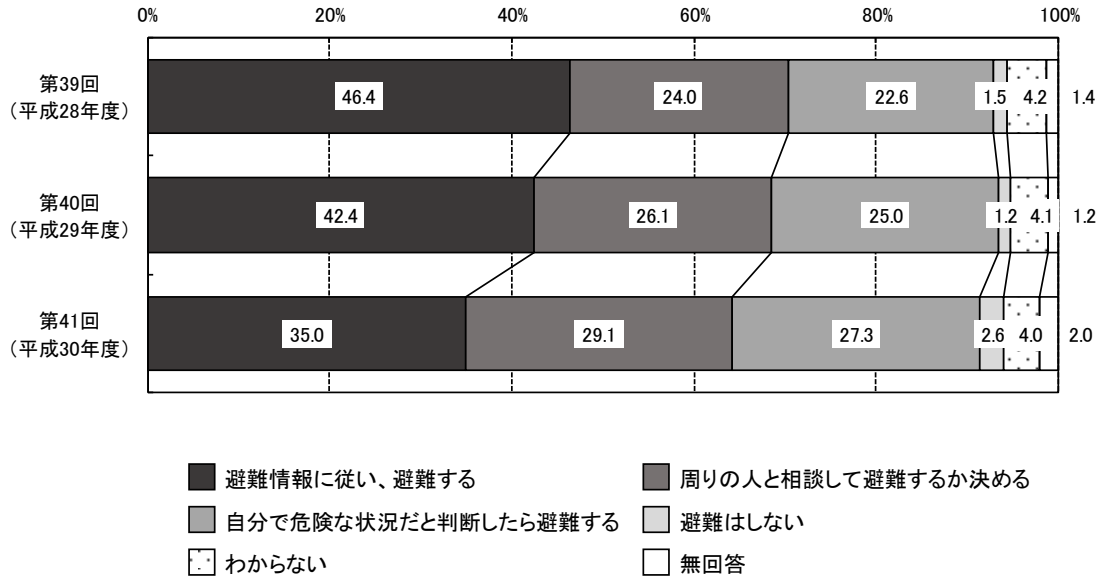


図 27-2 【前々回・前回比較】 避難情報に対する行動



※ 避難準備・高齢者等避難開始：平成 28 年台風第 10 号による水害で、岩手県岩泉町の高齢者施設において避難準備情報の意味するところが伝わっておらず、適切な避難行動がとられなかったことを踏まえ、名称が変更された。